

3. 就業に対する意識について

(1)働いている理由

3-(1)現在、働いている一番の理由は何ですか。【1つに〇】

働いている理由については、「家計を支える中心であるため」が45.6%と最も高く、次いで「家計を補う（助ける）ため」が26.7%、「社会の一員としての務めを果たすため」が7.4%となった。

前回調査との比較では、「社会の一員としての務めを果たすため」が前回は17.9ポイント下回っている。

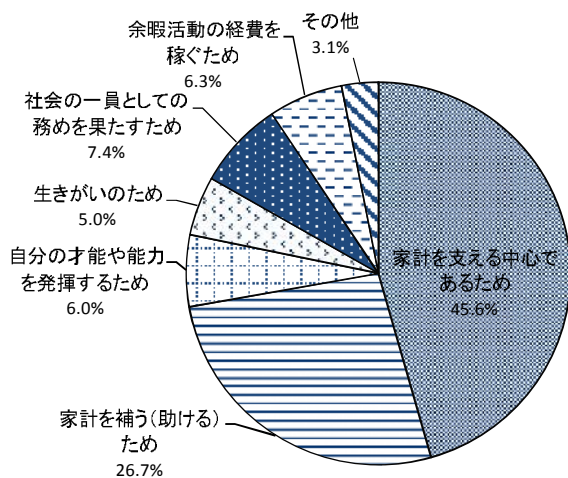
性別でみると、＜男性＞では「家計を支える中心であるため」が7割弱で最も高く、＜女性＞では「家計を補う（助ける）ため」が4割を超え、最も高い。

性別・年代別でみると、＜女性＞では20歳代から60歳代で「家計を補う（助ける）ため」が最も高く、次いで「家計を支える中心であるため」が25歳以上から45歳未満では2割前後、45歳から70歳未満では3割前後の割合を占めている。＜男性＞では25歳以上で「家計を支える中心であるため」が最も高い。

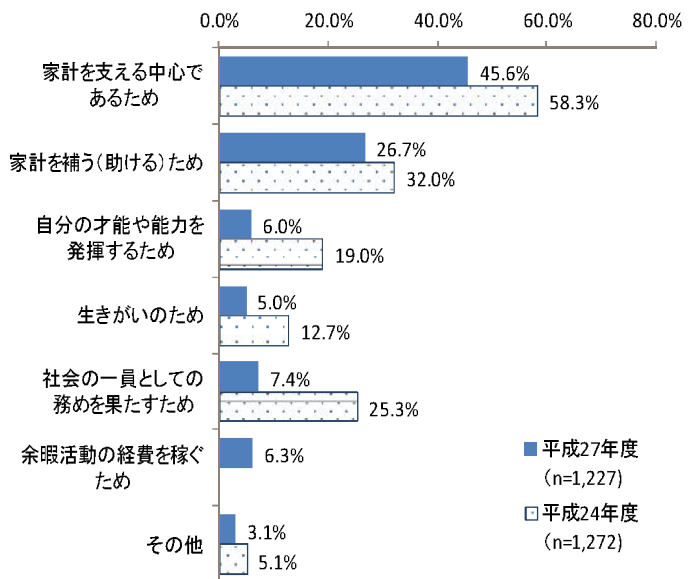
正規・非正規別でみると、＜正規＞では「家計を支える中心であるため」、＜非正規＞では「家計を補う（助ける）ため」が、それぞれ最も高い。

■働いている理由

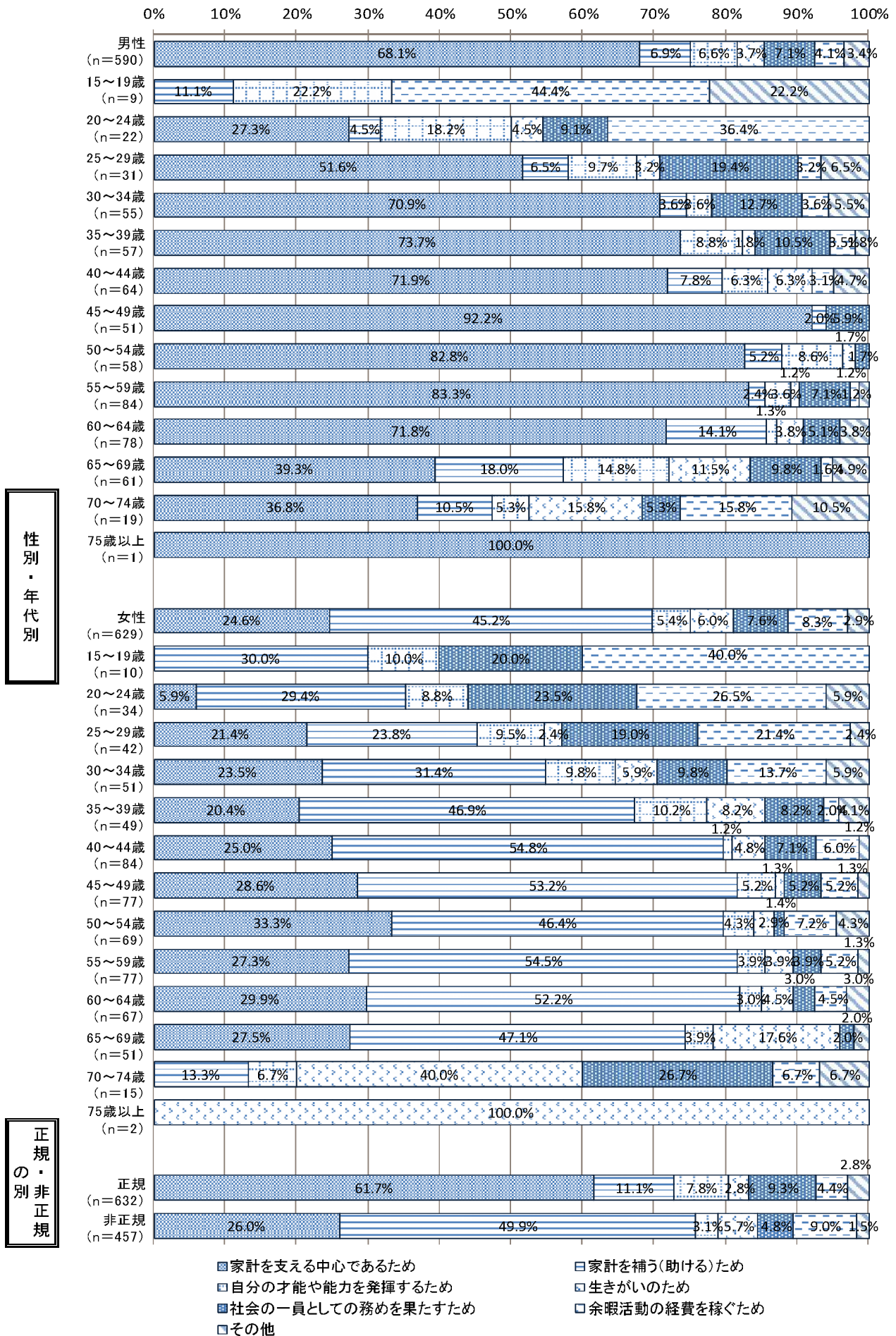
【回答数=1,227】



《前回調査との比較》



《性別・年代別／正規・非正規の別》



(2) 仕事の満足度

3-(2) 現在の仕事に満足していますか。【1つに○】

現在の仕事の満足度については、「満足している」が45.2%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が39.9%、「満足していない」が14.9%となった。

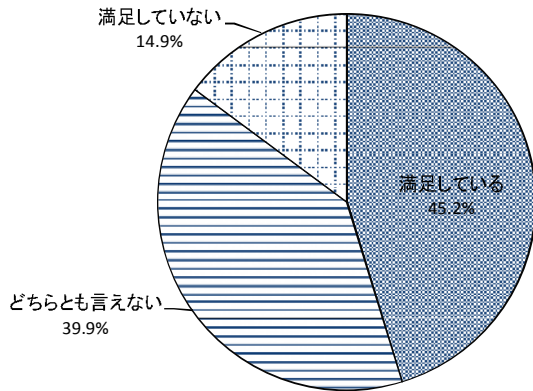
前回調査との比較及び性別では、大きな違いはみられない。

性別・年代別でみると、＜男性＞では概ね35歳以上で「満足している」の割合が高い。＜女性＞では＜40～44歳＞を除く25歳以上から60歳未満の年代で、「どちらとも言えない」が「満足している」を上回っている。

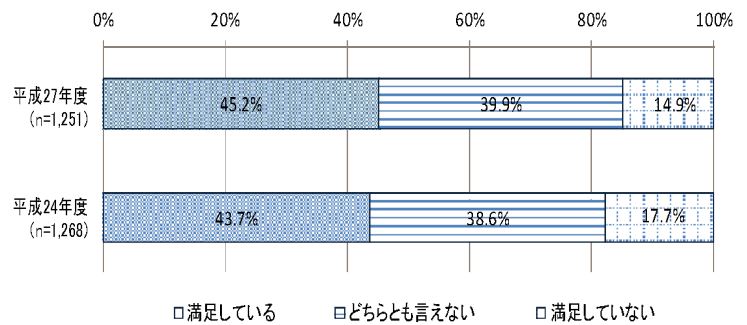
正規・非正規別でみると、＜正規＞では「満足している」、＜非正規＞では「どちらともいえない」がそれぞれ最も多い。

■現在の仕事の満足度

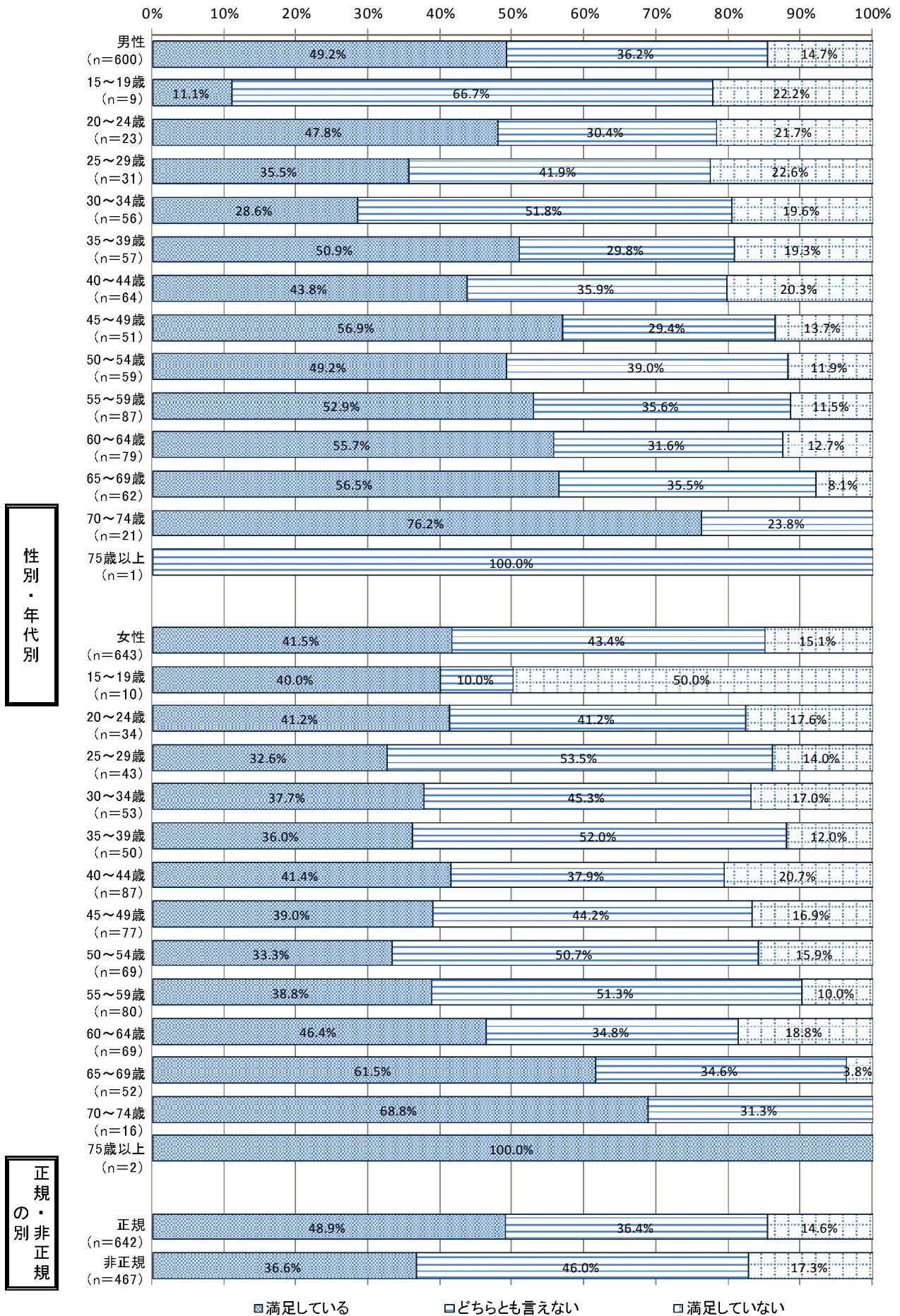
【回答数=1,251】



《前回調査との比較》



《性別・年代別／正規・非正規の別》



(3) 仕事に満足している理由

3-(3) 現在の仕事に対して満足している大きな理由は何ですか。【いくつでも○】

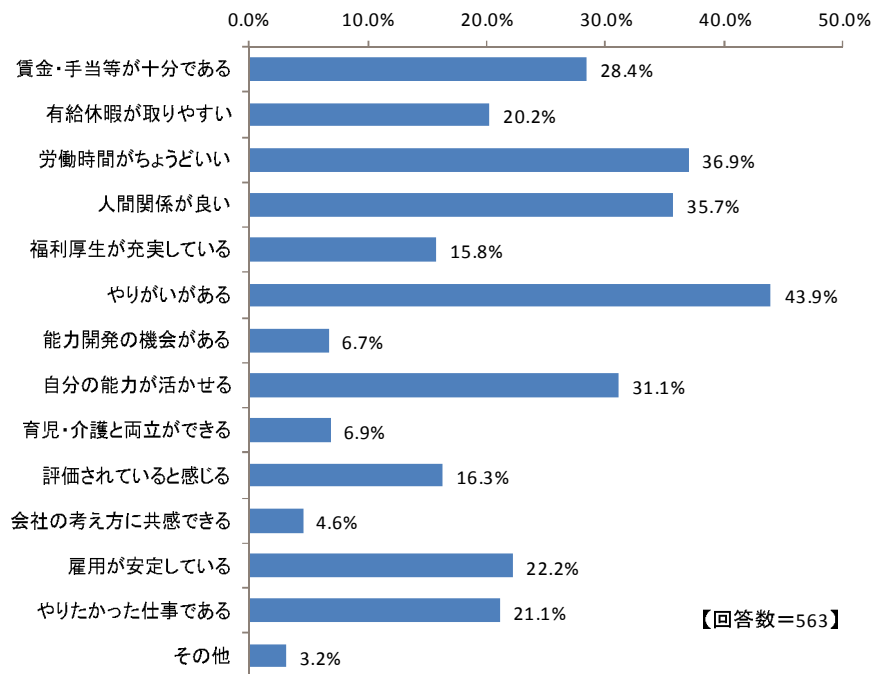
現在の仕事に満足している大きな理由については、「やりがいがある」が 43.9%と最も高く、次いで「労働時間がちょうどいい」が 36.9%、「人間関係が良い」が 35.7%となった。

上位3項目について性別で見ると、＜男性＞は＜女性＞に比べ「やりがいがある」の割合が高い。一方、＜女性＞は＜男性＞に比べ「労働時間がちょうどいい」「人間関係が良い」の割合が高い。

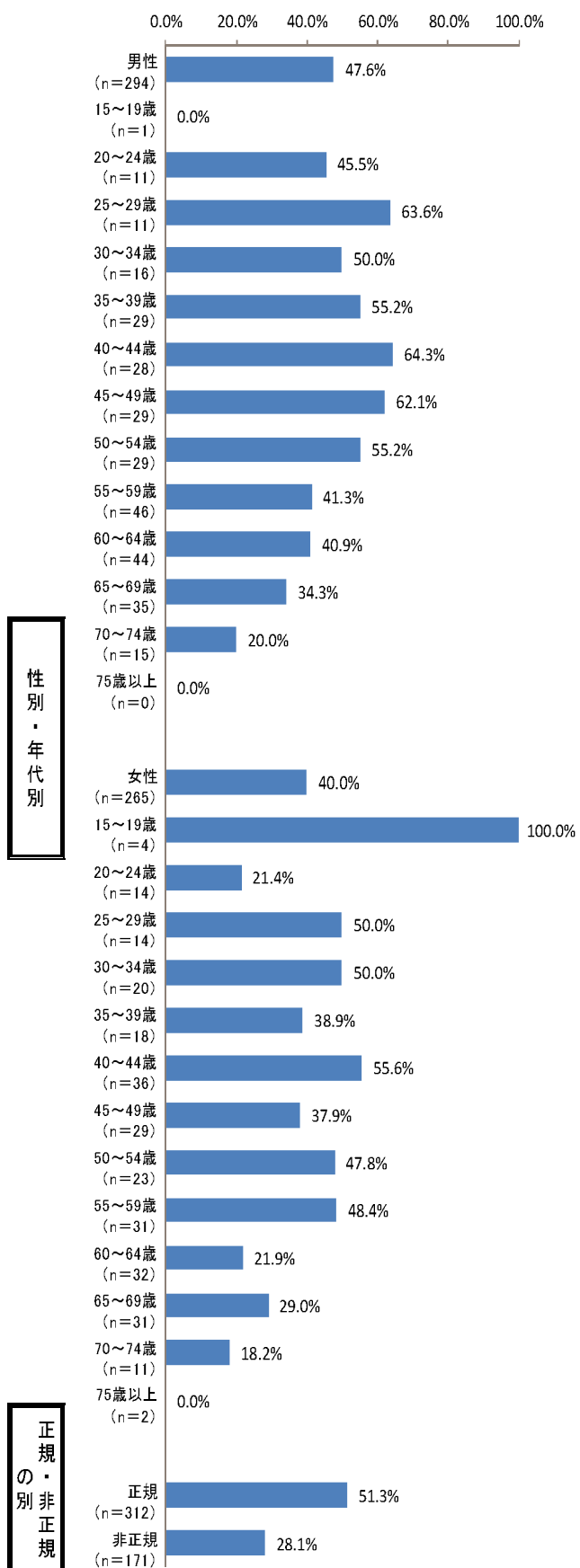
性別・年代別で見ると、＜男性＞では、25歳から55歳未満で「やりがいがある」の割合が5割を超えており、＜25～29歳＞と40歳代で特に高い。＜女性＞では25歳から60歳未満の間で、＜35～39歳＞＜45～49歳＞を除き、「やりがいがある」の割合が5割前後を占めている。

正規・非正規別で見ると、＜正規＞では「やりがいがある」の割合が高く、＜非正規＞では「労働時間がちょうどいい」「人間関係が良い」の割合が高い。

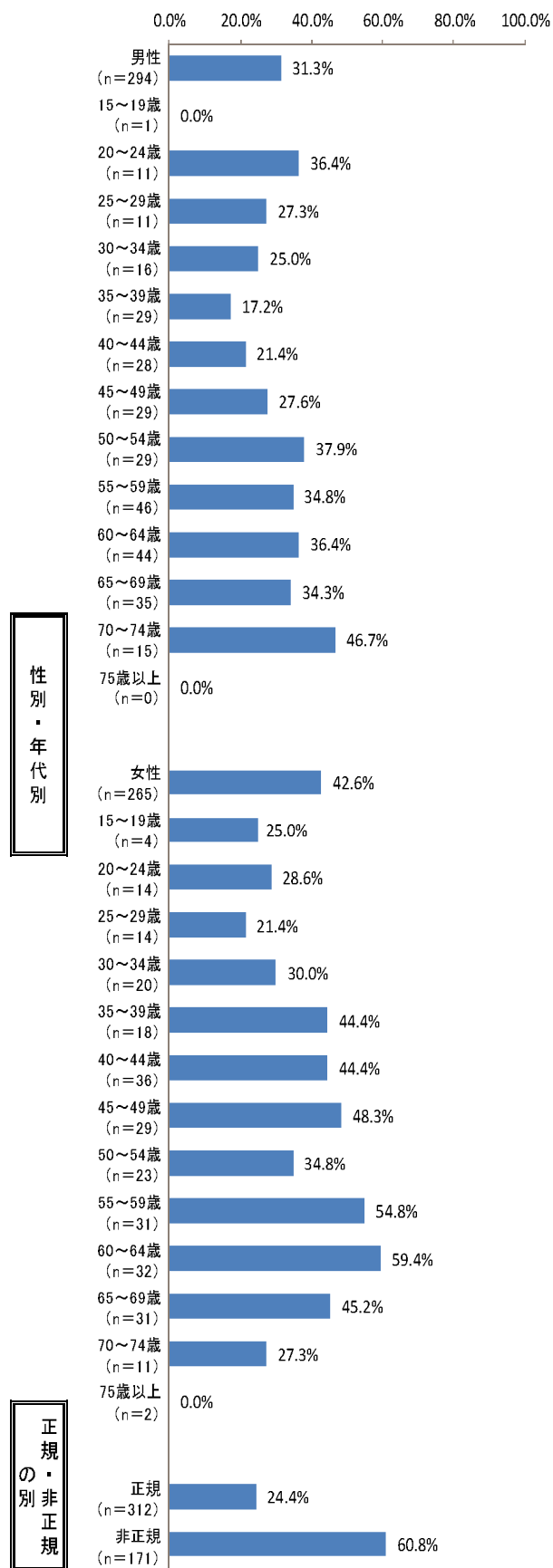
■現在の仕事の満足度



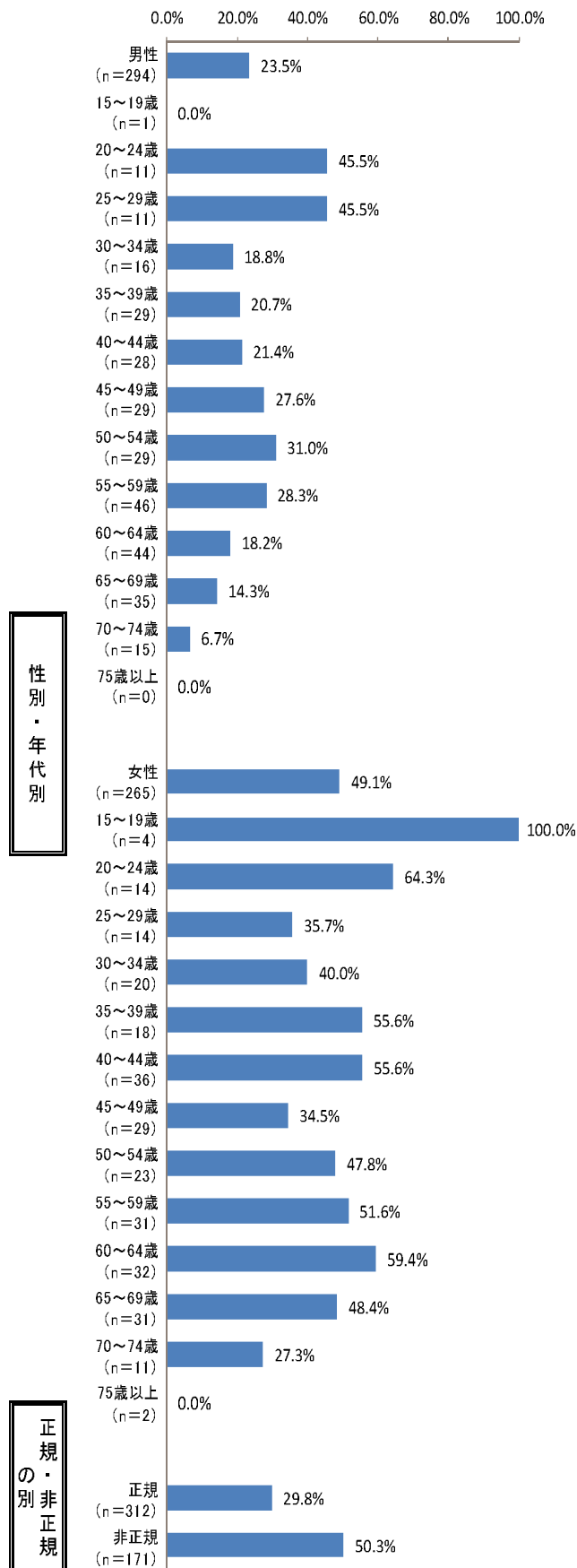
「やりがいがある」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別／正規・非正規の別≫



「労働時間がちょうどいい」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別／正規・非正規の別≫



「人間関係が良い」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別／正規・非正規の別≫



(4) 仕事に満足していない理由

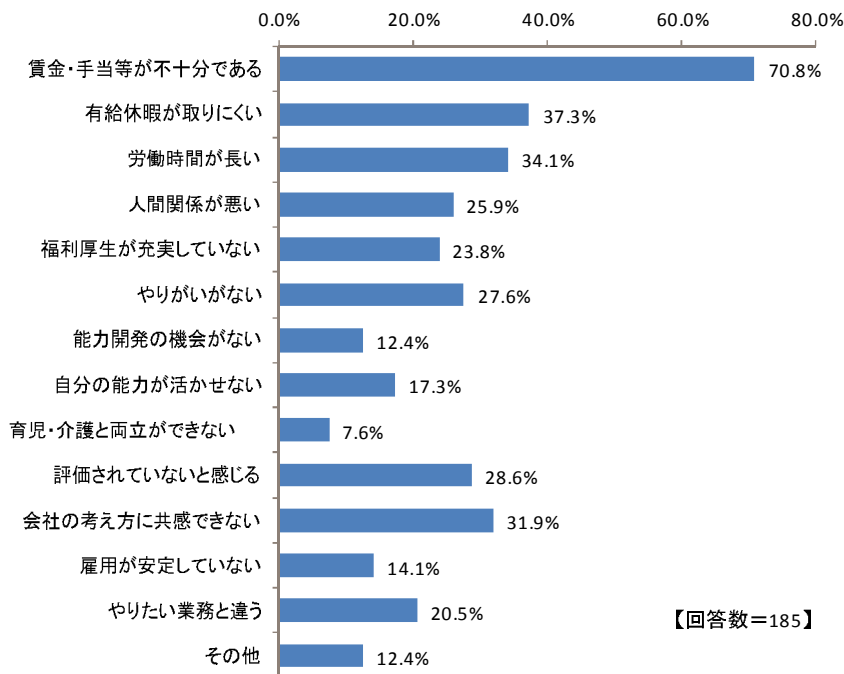
3-(4) 現在の仕事に対して満足していない大きな理由は何ですか。【いくつでも○】

現在の仕事に満足していない大きな理由については、「賃金・手当等が不十分である」が70.8%と最も高く、次いで「有給休暇が取りにくい」が37.3%、「労働時間が長い」が34.1%となった。

性別でみると、＜男性＞＜女性＞いずれも「賃金・手当等が不十分である」の割合が高い。＜男性＞の40歳代と＜女性＞の30歳から35歳未満で、「有給休暇が取りにくい」の割合が他の年代より高い。＜男性＞は＜女性＞に比べ「労働時間が長い」の割合が高い。

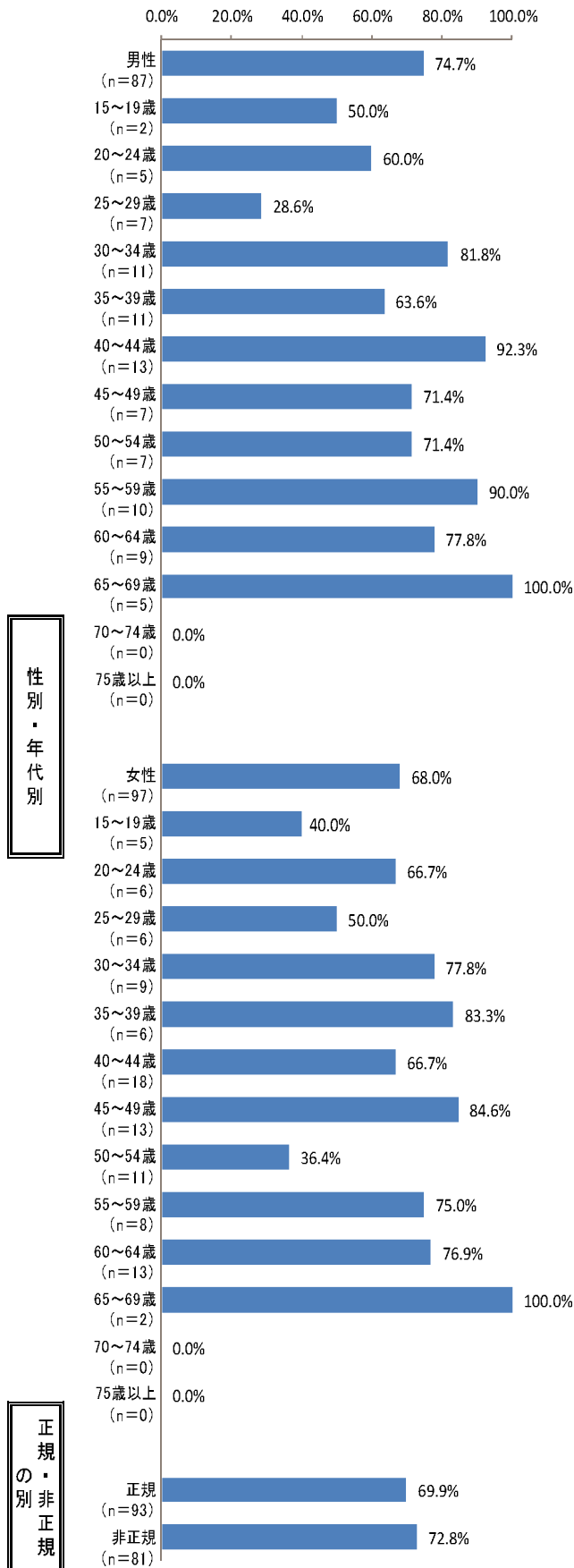
正規・非正規別でみると、＜正規＞＜非正規＞いずれも「賃金・手当等が不十分である」の割合が高く、＜正規＞では＜非正規＞に比べ「有給休暇が取りにくい」「労働時間が長い」の割合が高くなっている。

■現在の仕事の不満度



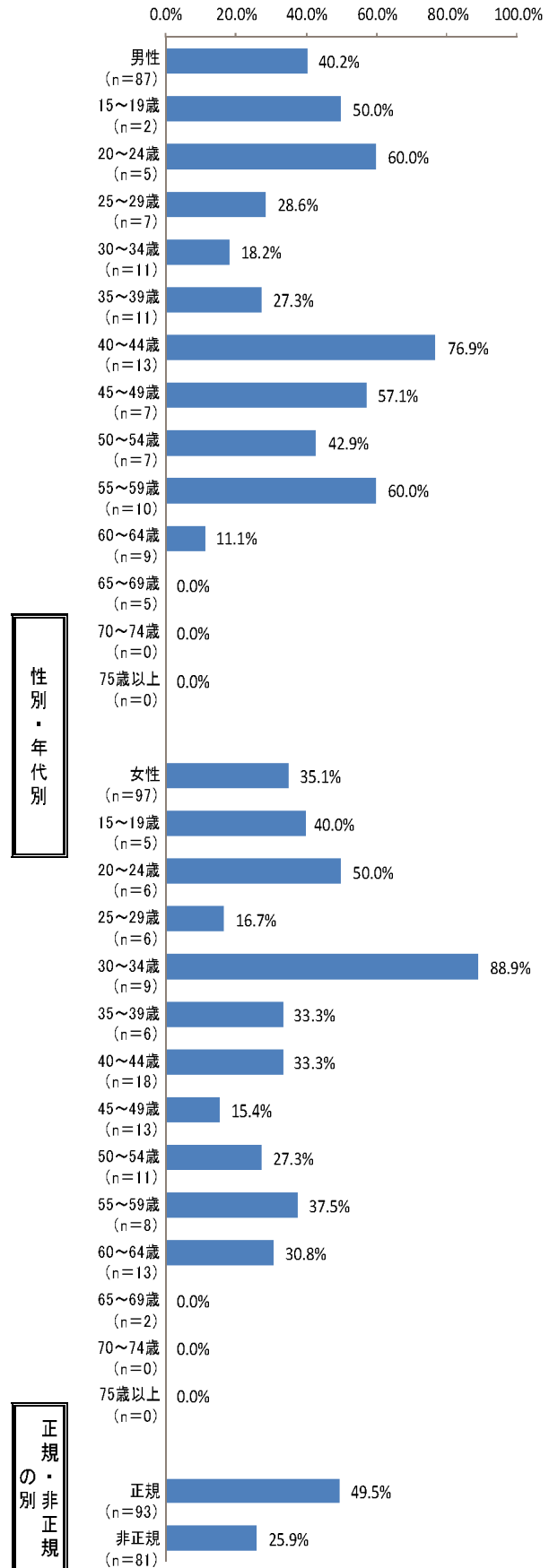
「賃金・手当等が不十分である」と回答した人の割合

《性別・年代別／正規・非正規の別》



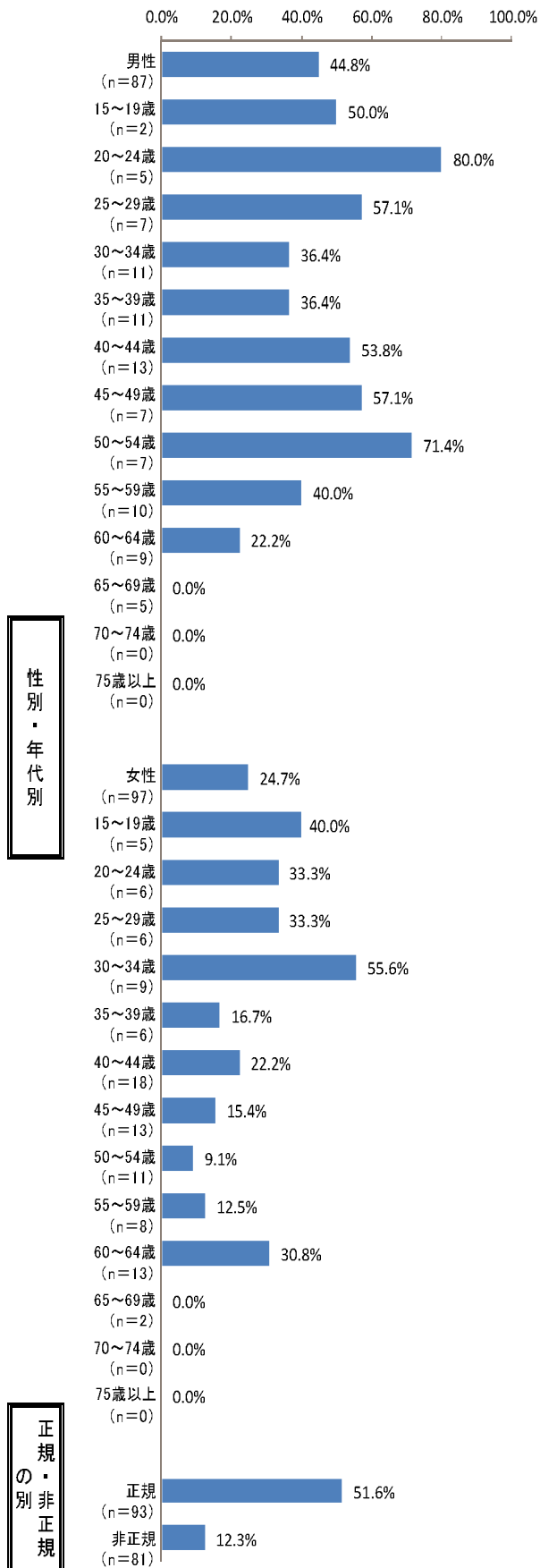
「有給休暇が取りにくい」と回答した人の割合

《性別・年代別／正規・非正規の別》



「労働時間が長い」と回答した人の割合

《性別・年代別／正規・非正規の別》



(5)長く働くために有効な会社の取組

3-(5)あなたが今の職場で長く働くために、最も有効だと思う会社の取組は何ですか。【1つに○】

長く働くために最も有効な会社の取組については、「賃上げなど給与の充実」が32.2%と最も高く、次いで「適正な業務量の管理」が13.2%、「風通しの良い職場づくり」が11.3%となった。

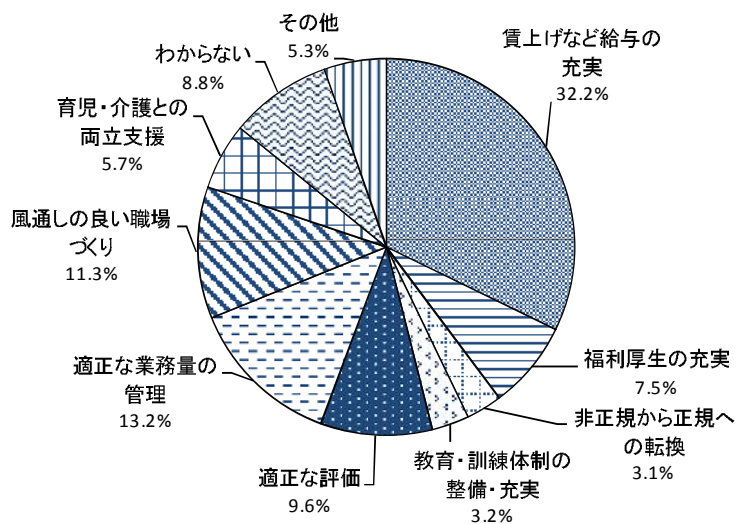
性別でみると、＜男性＞＜女性＞いずれも「賃上げなど給与の充実」が最も高いが、＜女性＞は＜男性＞に比べてその割合が低い。

性別・年代別でみると、＜男性＞の＜35～39歳＞と60歳代で「適正な業務量の管理」の割合が他の年代に比べて高く、＜女性＞の20歳代から45歳未満の間の各年代において、「育児・介護との両立支援」の割合が比較的高くなっている。

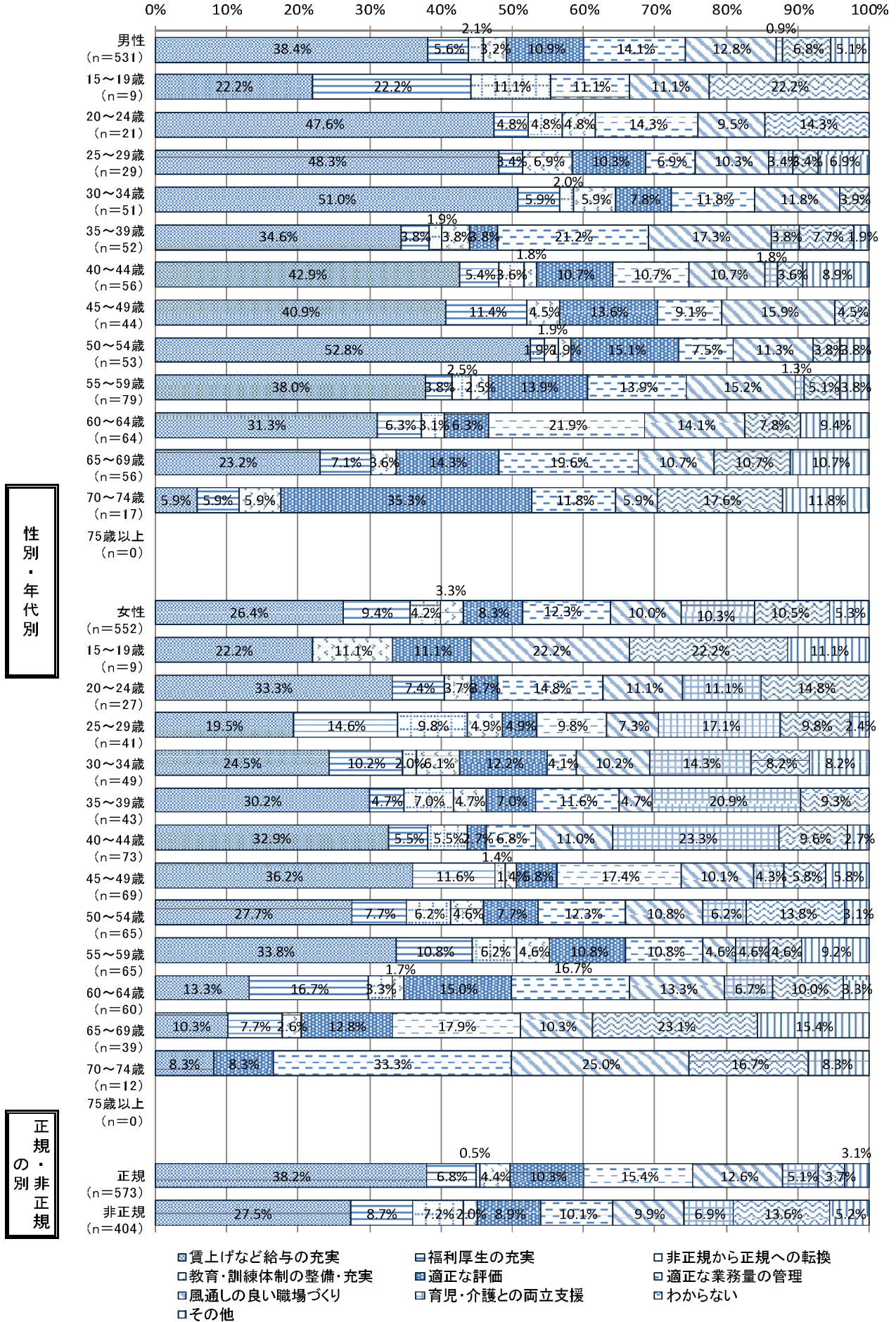
正規・非正規別でみると、＜正規＞では＜非正規＞に比べ「賃上げなど給与の充実」の割合が高い。

■長く働くために有効な会社の取組

【回答数=1,089】



《性別・年代別／正規・非正規の別》



(6) 希望する就労年数

3-(6) 今後、あなたは何歳まで働きたいとお考えですか。【1つに○】

今後何歳まで働きたいかについては、「働けるうちはいつまでも」が 36.2%と最も高く、次いで「61歳～65歳」が 27.3%、「60歳」が 16.0%となった。

前回調査との比較では、「働けるうちはいつまでも」が、前回に比べ高い割合となっている。

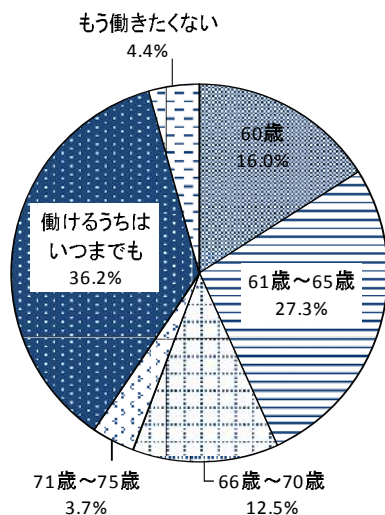
性別でみると、＜男性＞では「61歳～65歳」が最も高く、次に高い「働けるうちはいつまでも」とともに3割程度を占めているが、＜女性＞では「働けるうちはいつまでも」が最も高く、4割を超えている。

性別・年代別でみると、「働けるうちはいつまでも」の割合は、いずれの年代においても＜女性＞が＜男性＞に比べて高い。

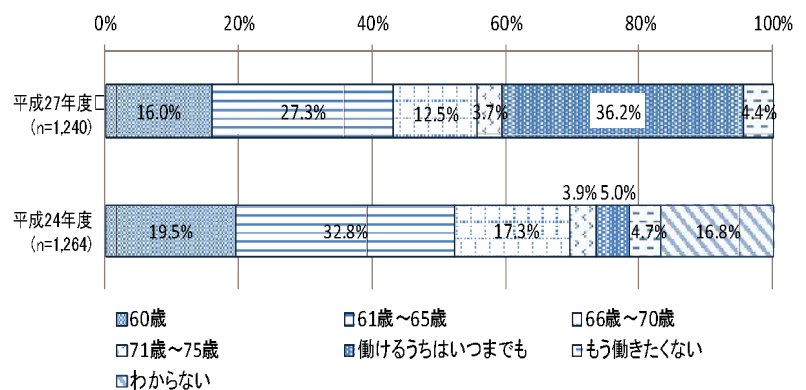
正規・非正規別でみると、＜非正規＞では＜正規＞に比べ「働けるうちはいつまでも」の割合が高くなっている。

■ 希望する就労年数

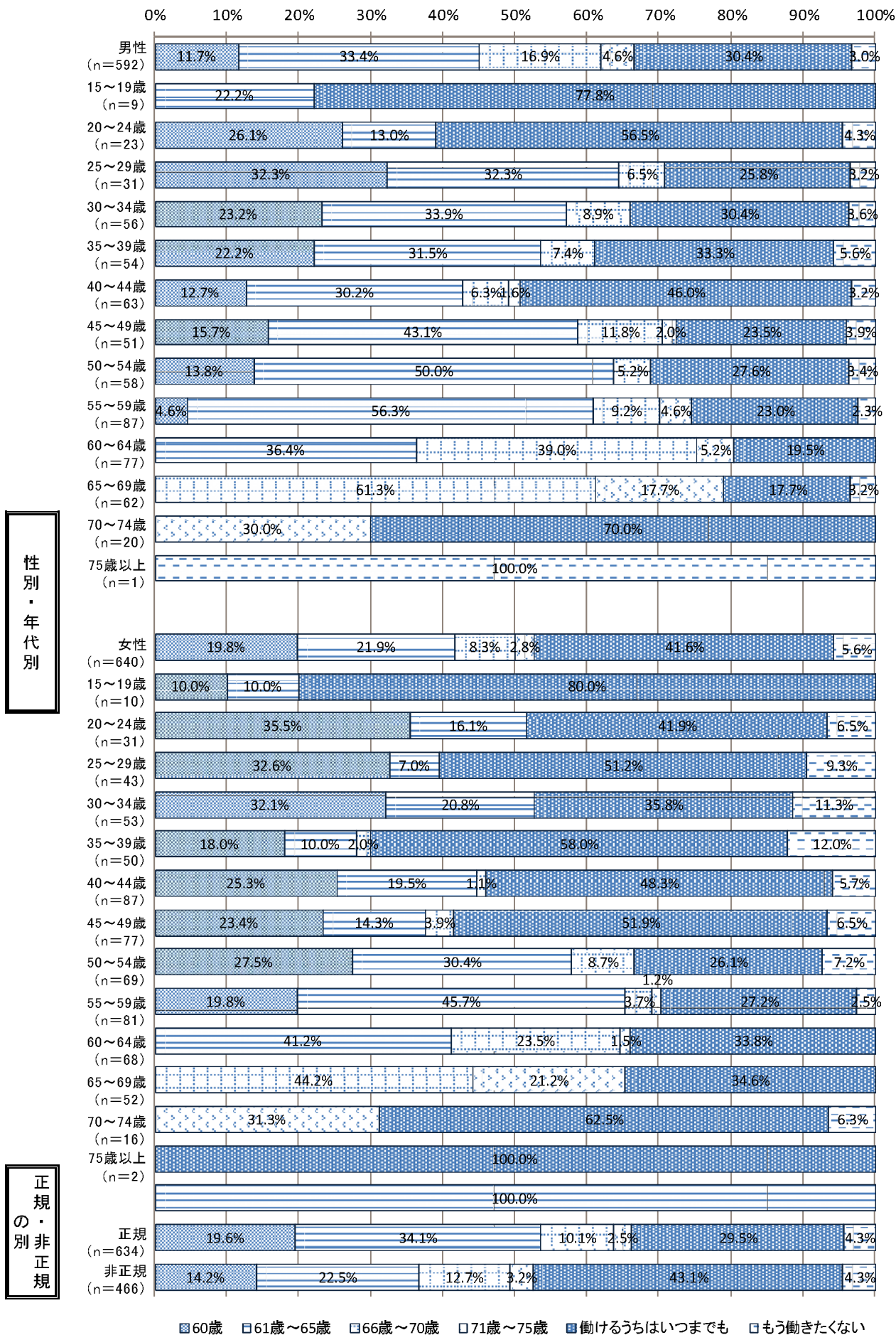
【回答数=1,240】



＜前回調査との比較＞



《性別・年代別／正規・非正規の別》



(7)仕事と家庭生活の両立のために必要なこと

3-(7)仕事と家庭生活の両立のために必要と思うことは何ですか。【いくつでも○】

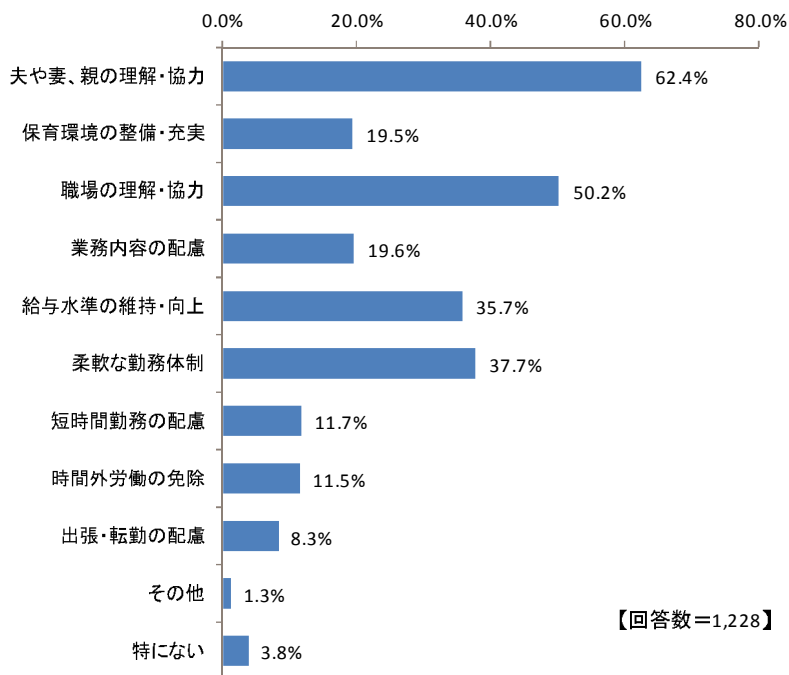
仕事と家庭生活の両立のために必要と思うことについては、「夫や妻、親の理解・協力」が62.4%と最も高く、次いで「職場の理解・協力」が50.2%、「柔軟な勤務体制」が37.7%となった。

性別でみると、上位3項目とも、＜男性＞に比べ＜女性＞の割合が高くなっている。

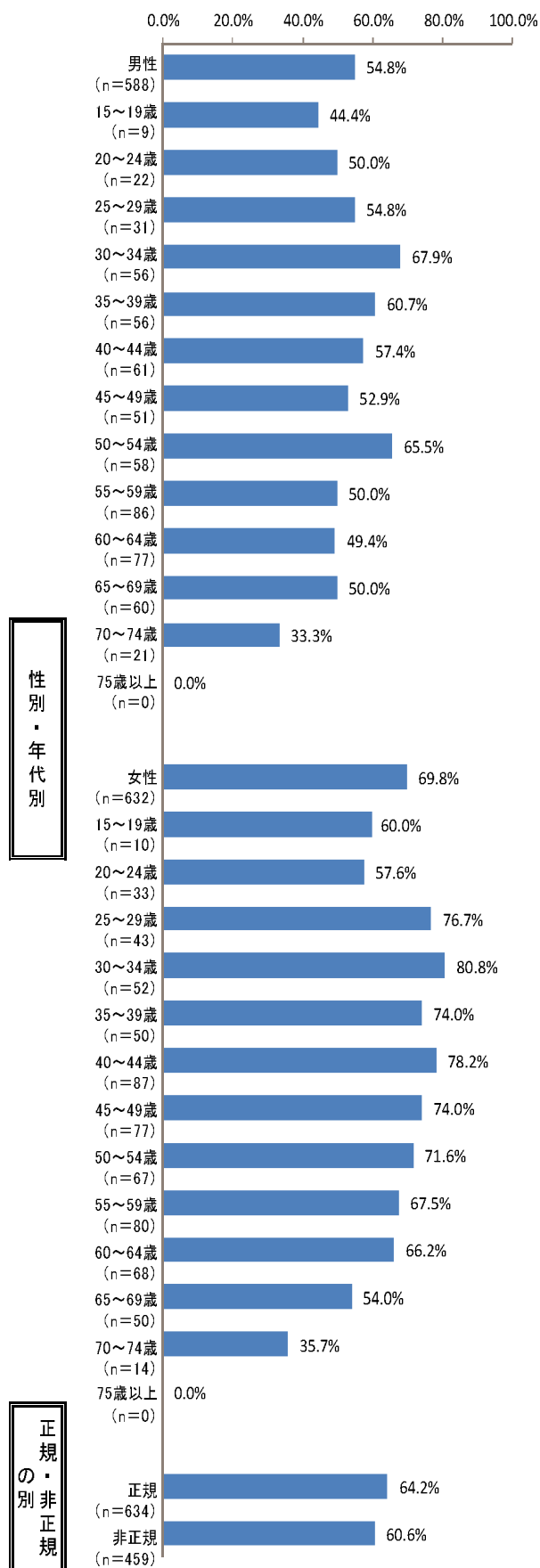
性別・年代別でみると、「職場の理解・協力」は、＜男性＞＜女性＞いずれも45歳以上で割合が低くなっている。

正規・非正規別では、＜正規＞は「夫や妻、親の理解・協力」の割合が＜非正規＞に比べて若干高く、＜非正規＞は「柔軟な勤務体制」の割合が＜正規＞に比べて高い。

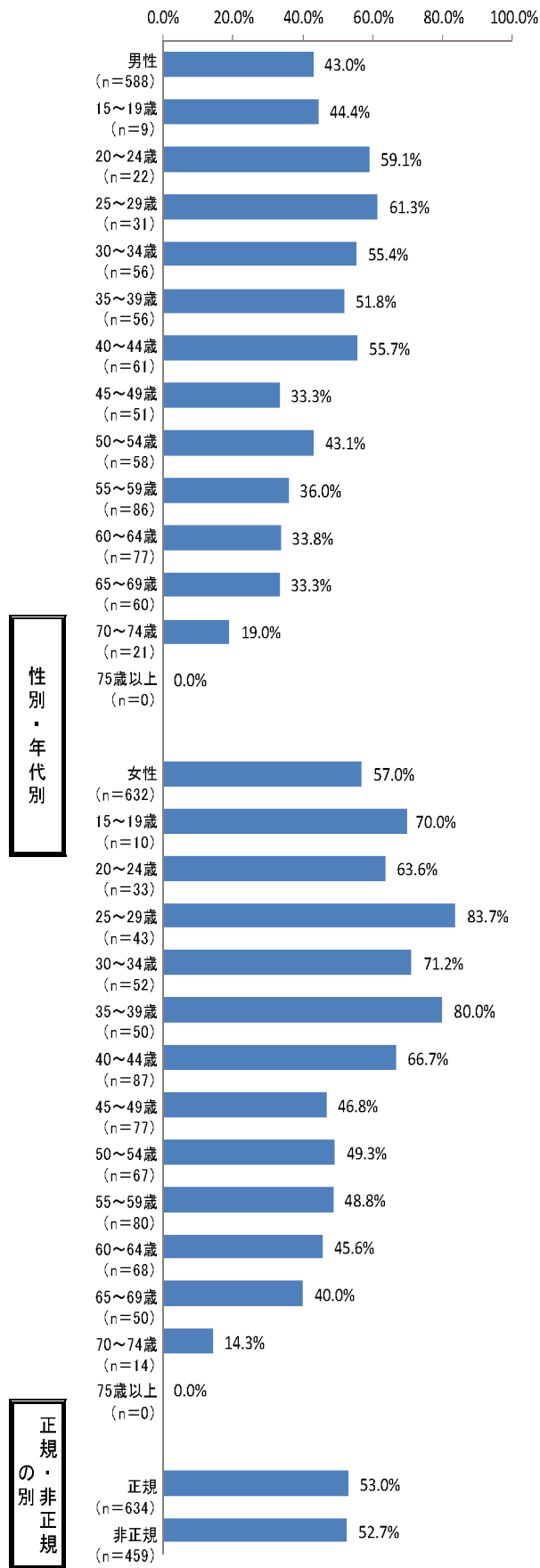
■仕事と家庭生活の両立のために必要と思うこと



「夫や妻、親の理解・協力」と回答した人の割合
 <<性別・年代別／正規・非正規の別>>

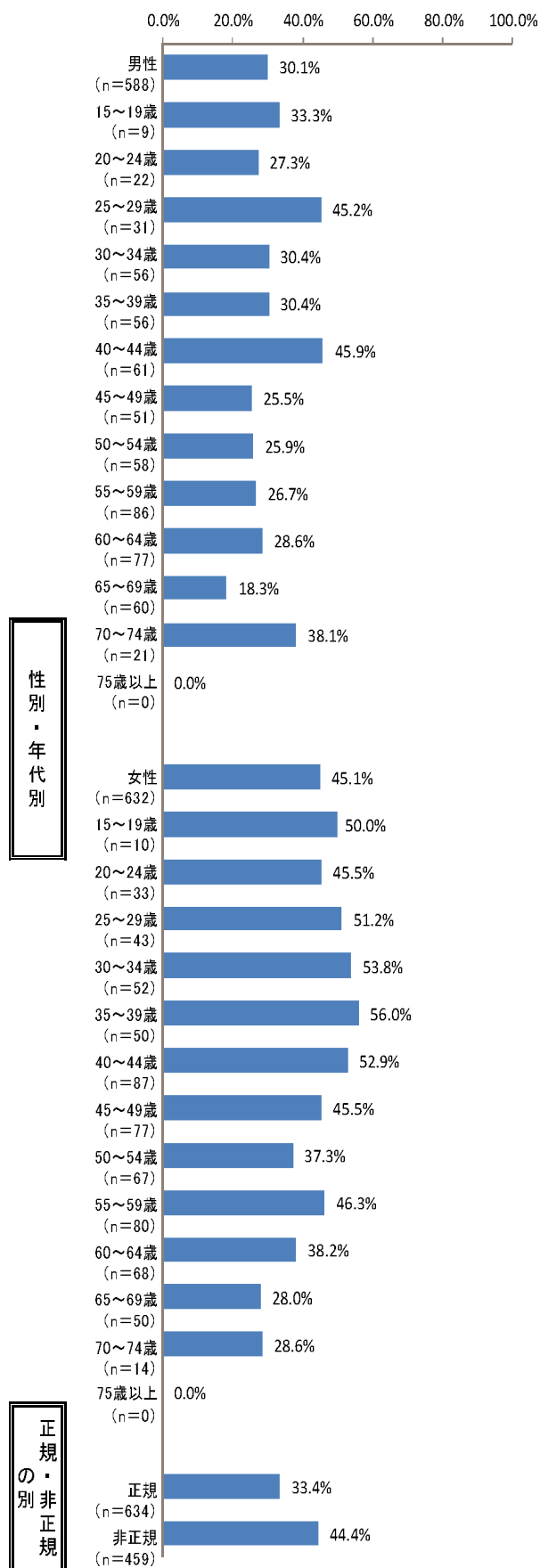


「職場の理解・協力」と回答した人の割合
 <<性別・年代別／正規・非正規の別>>



「柔軟な勤務体制」と回答した人の割合

《性別・年代別／正規・非正規の別》



(8)-1 職場にいた場合、どのように感じるか【外国人】

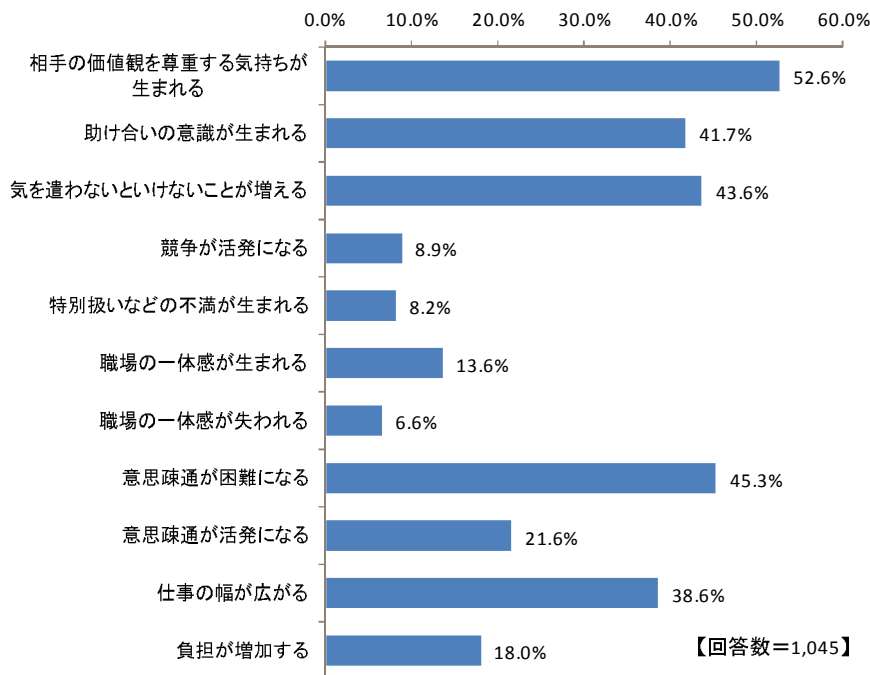
3-(8)-① あなたの職場に以下のような人がいた場合、どのように感じますか。「①外国人」【いくつでも○】

職場に外国人がいた場合、どのように感じるかについては、「相手の価値観を尊重する気持ちが生まれる」が52.6%と最も高く、次いで「意思疎通が困難になる」が45.3%、「気を遣わないといけないことが増える」が43.6%となった。

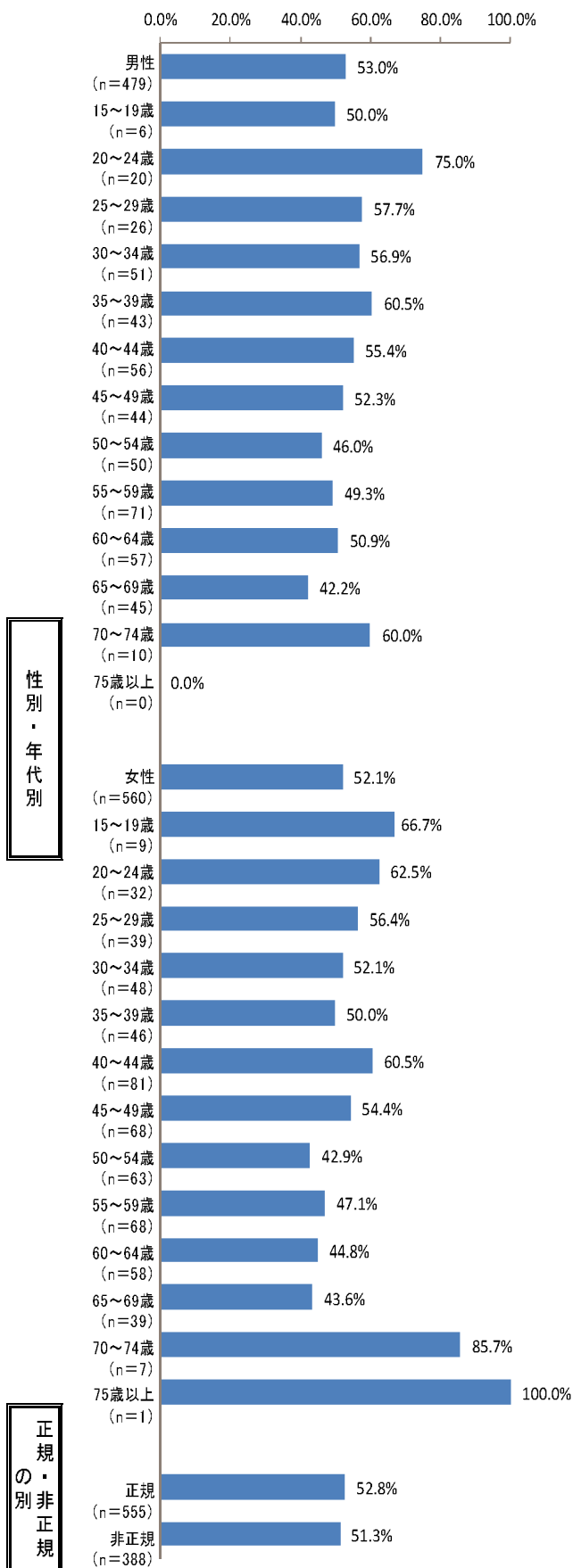
性別では特に大きな差はみられない。

性別・年代別でみると、＜男性＞の＜25～29歳＞で「意思疎通が困難になる」「気を遣わないといけないことが増える」の割合が高くなっている。

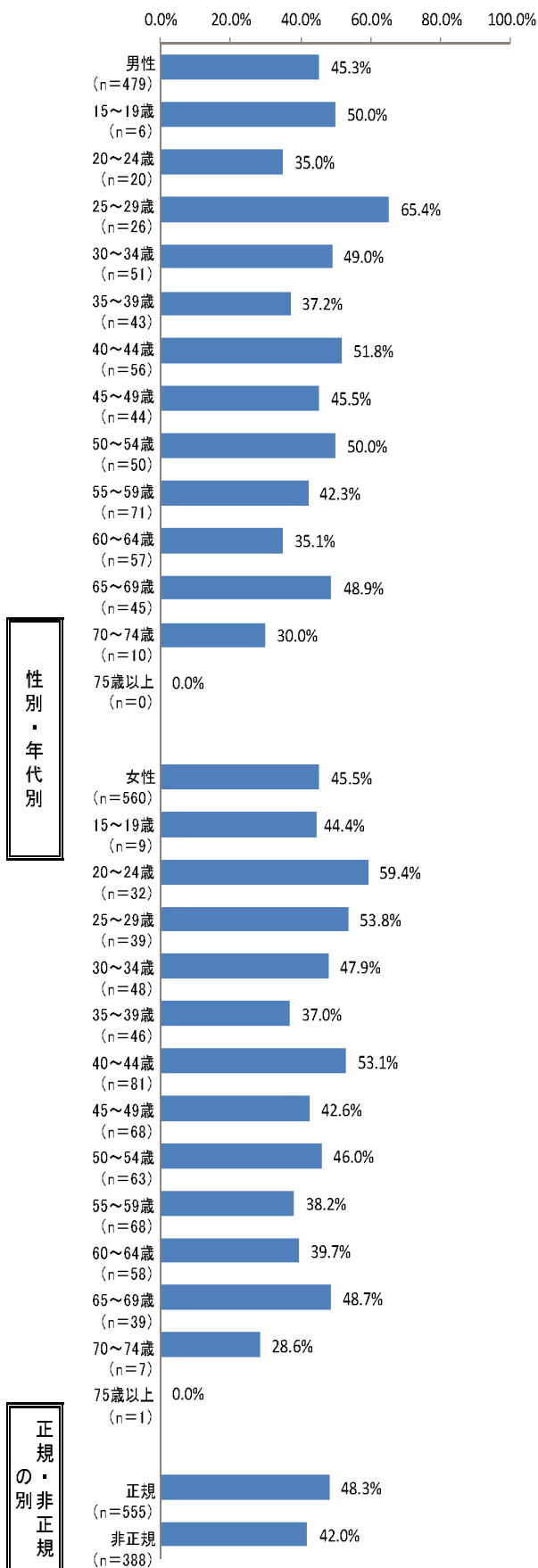
■職場にいた場合、どのように感じるか【外国人】



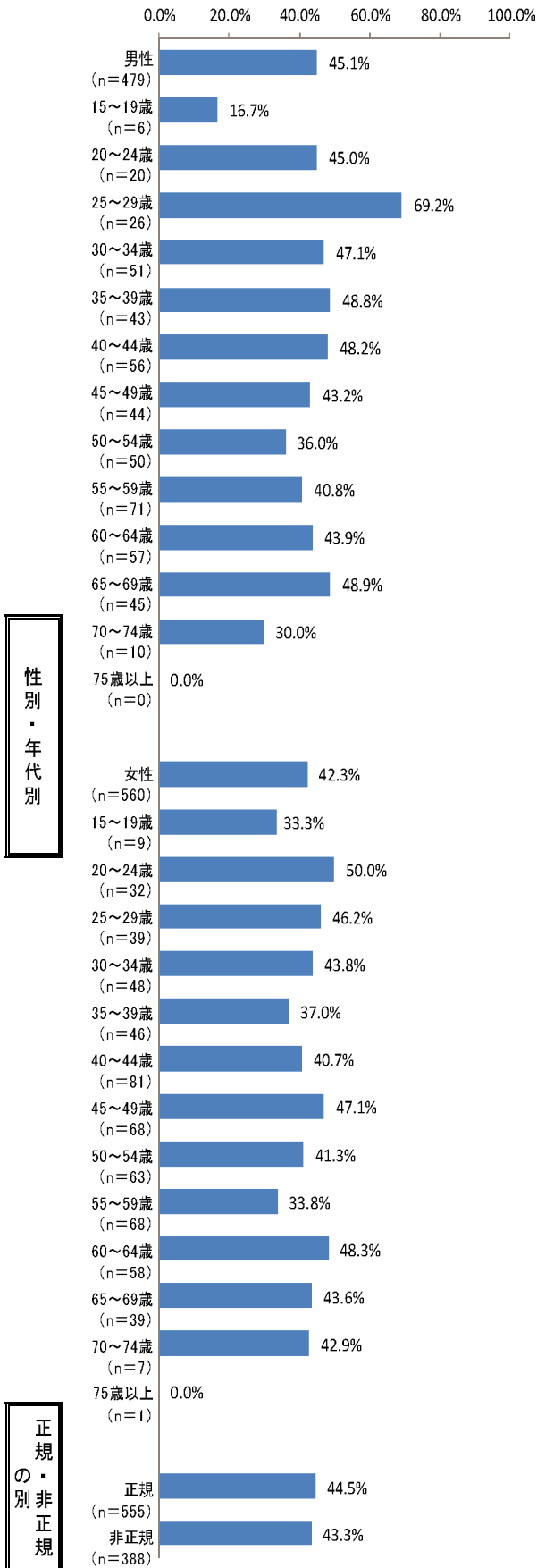
「相手の価値観を尊重する気持ちが生まれる」
と回答した人の割合
《性別・年代別／正規・非正規の別》



「意思疎通が困難になる」と回答した人の割合
《性別・年代別／正規・非正規の別》



「気を遣わないといけないことが増える」
と回答した人の割合
《性別・年代別／正規・非正規の別》



(8)-2 職場にいた場合、どのように感じるか【女性管理職】

3-(8)-② あなたの職場に以下のような人がいた場合、どのように感じますか。「②女性管理職」【いくつでも○】

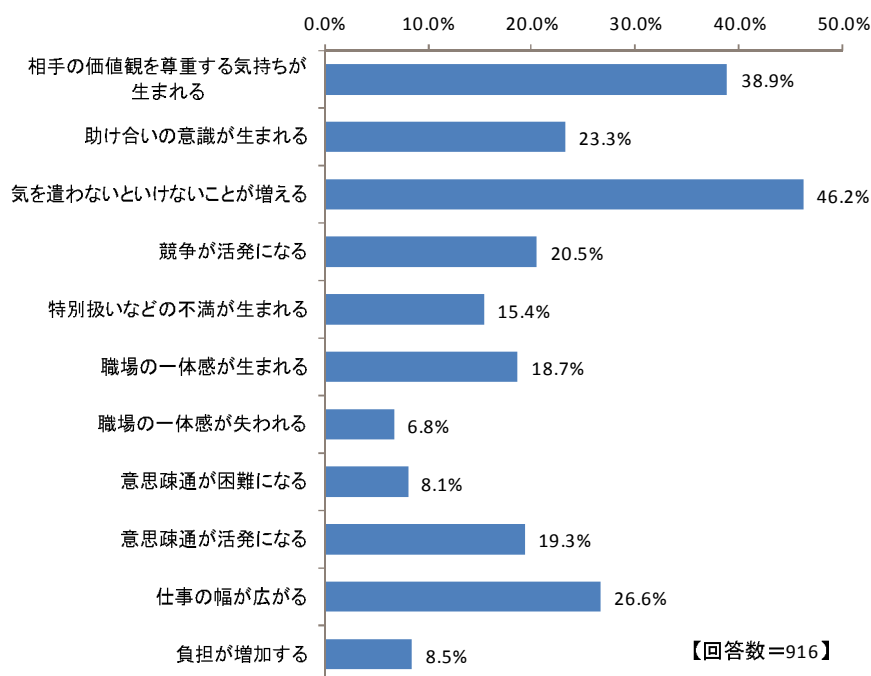
職場に女性管理職がいた場合、どのように感じるかについては、「気を遣わないといけないが増える」が46.2%と最も高く、次いで「相手の価値観を尊重する気持ちが生まれる」が38.9%、「仕事の幅が広がる」が26.6%となった。

性別で見ると、＜男性＞では＜女性＞に比べ「気を遣わないといけないが増える」の割合が高くなっている。

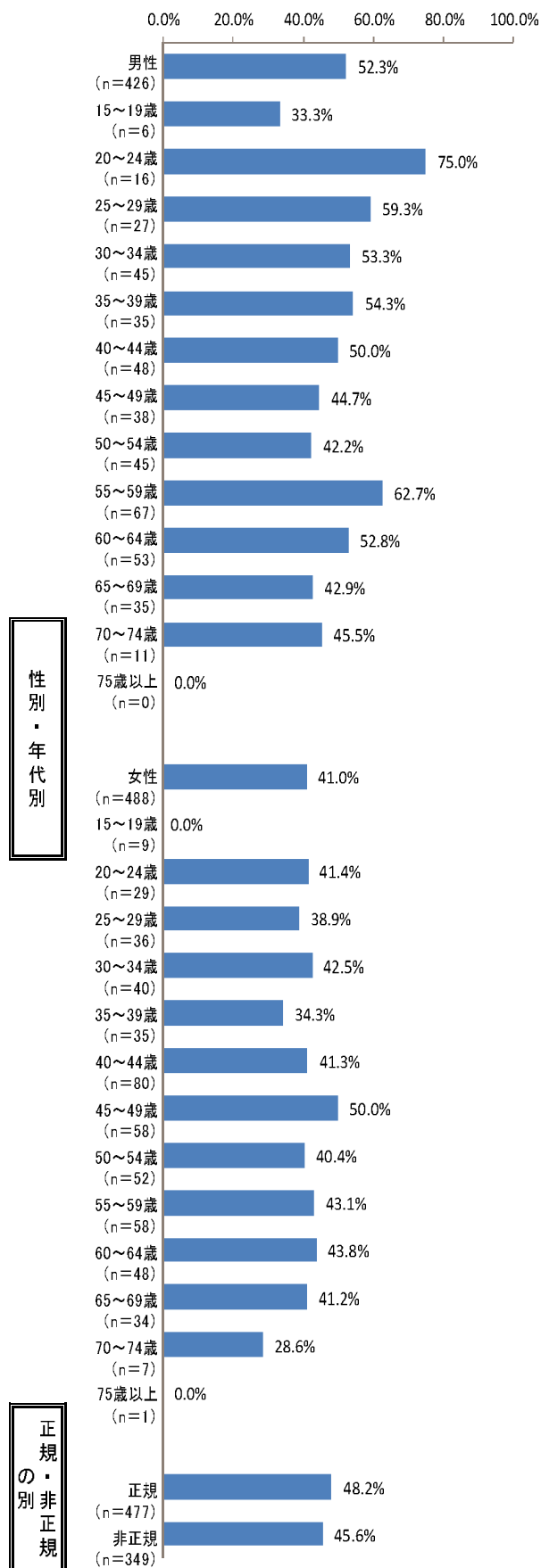
性別・年代別で見ると、＜男性＞の＜20～24歳＞＜55～59歳＞で「気を遣わないといけないが増える」の割合が高い。＜女性＞の30歳未満の年代では、「相手の価値観を尊重する気持ちが生まれる」「仕事の幅が広がる」の割合が高くなっている。

正規・非正規別では、特に大きな差は見られない。

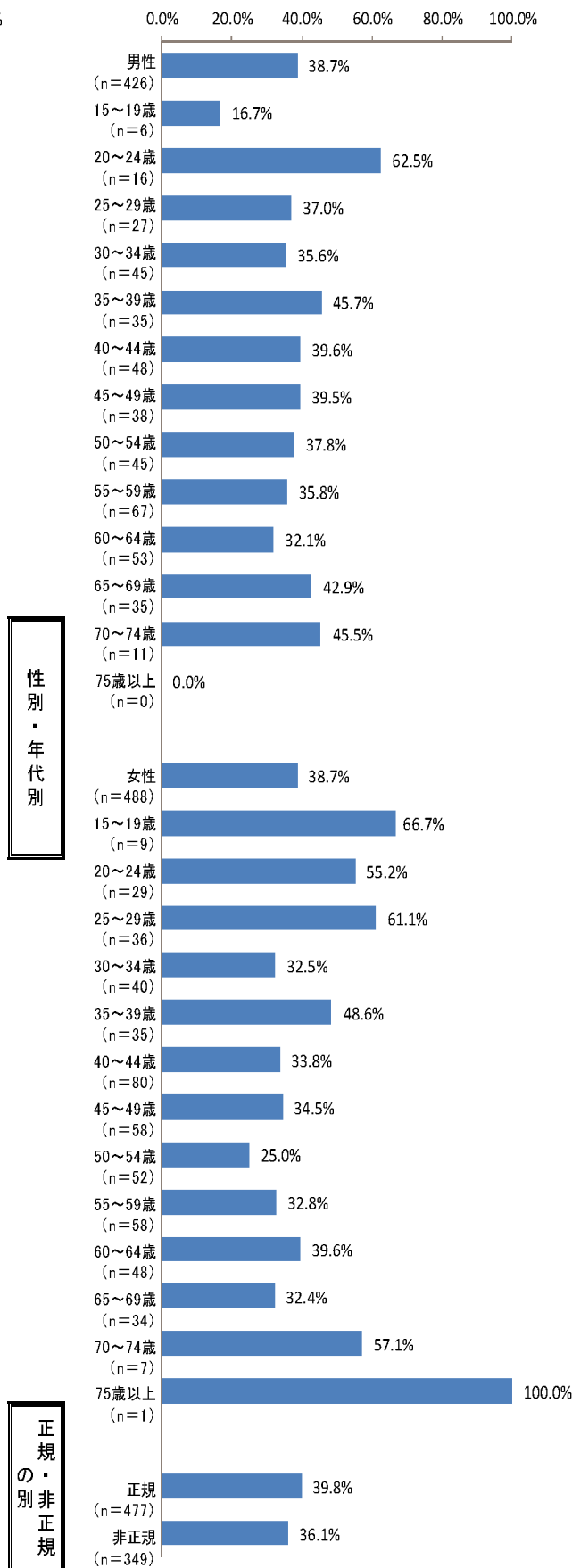
■職場にいた場合、どのように感じるか【女性管理職】



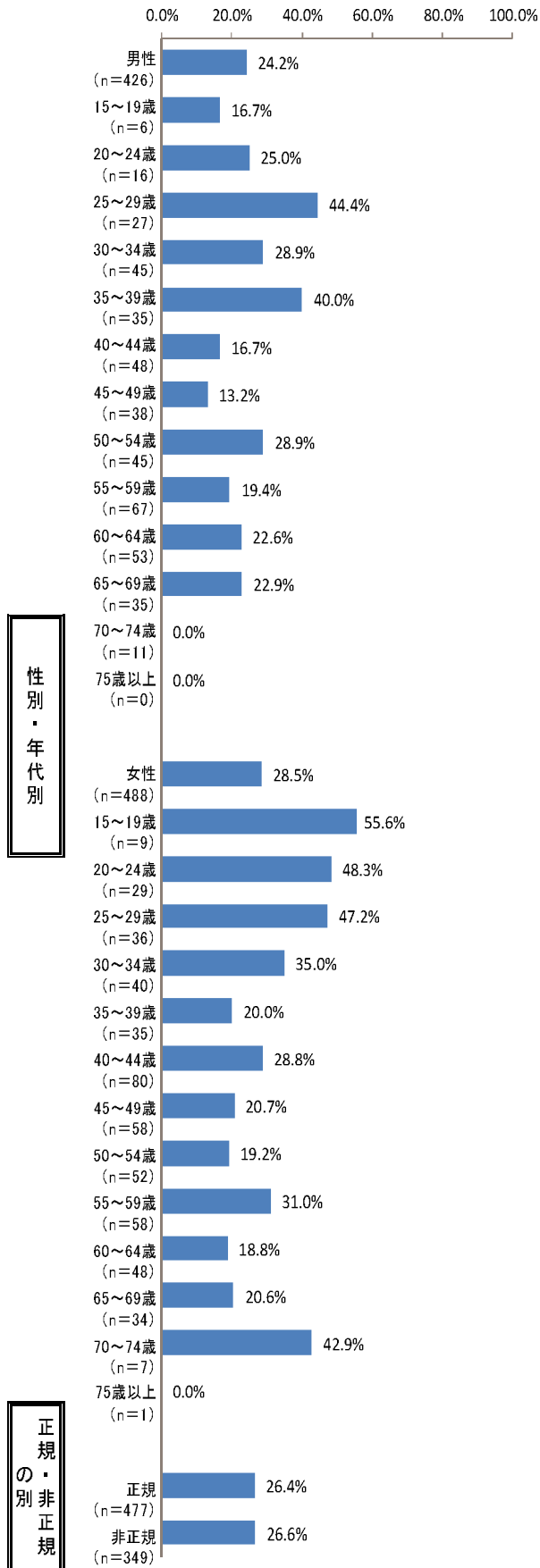
「気を遣わないといけないが増える」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別／正規・非正規の別≫



「相手の価値観を尊重する気持ちが生まれる」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別／正規・非正規の別≫



「仕事の幅が広がる」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別／正規・非正規の別≫



(8)-3 職場にいた場合、どのように感じるか【高齢者(60歳以上)】

3-(8)-③ あなたの職場に以下のような人がいた場合、どのように感じますか。「③高齢者(60歳以上)」【いくつでも○】

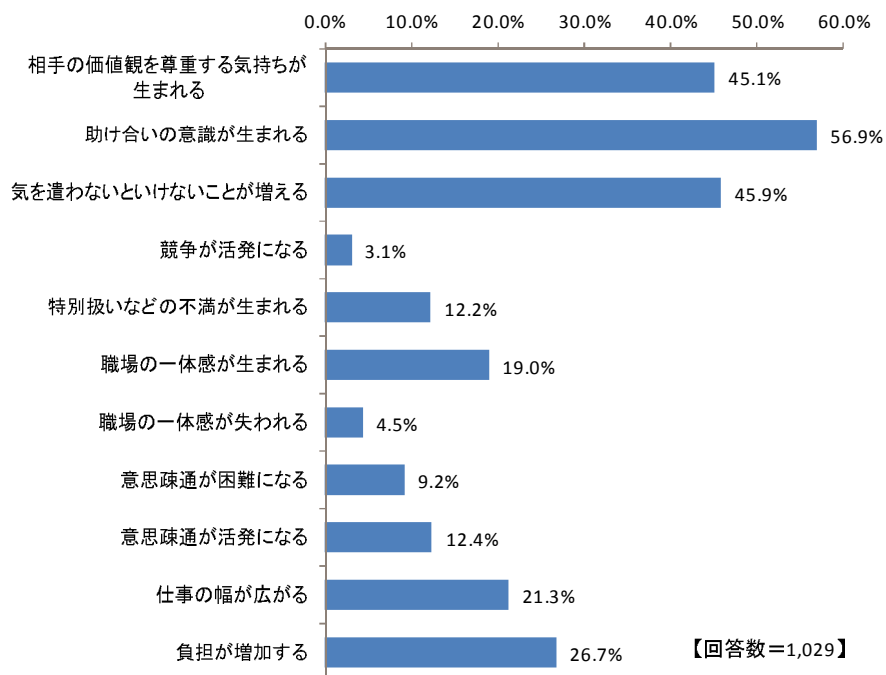
職場に高齢者(60歳以上)がいた場合、どのように感じるかについては、「助け合いの意識が生まれる」が56.9%と最も高く、次いで「気を遣わないといけないが増える」が45.9%、「相手の価値観を尊重する気持ちが生まれる」が45.1%となった。

性別でみると、「助け合いの意識が生まれる」の割合は、<女性>が<男性>より比較的高い。

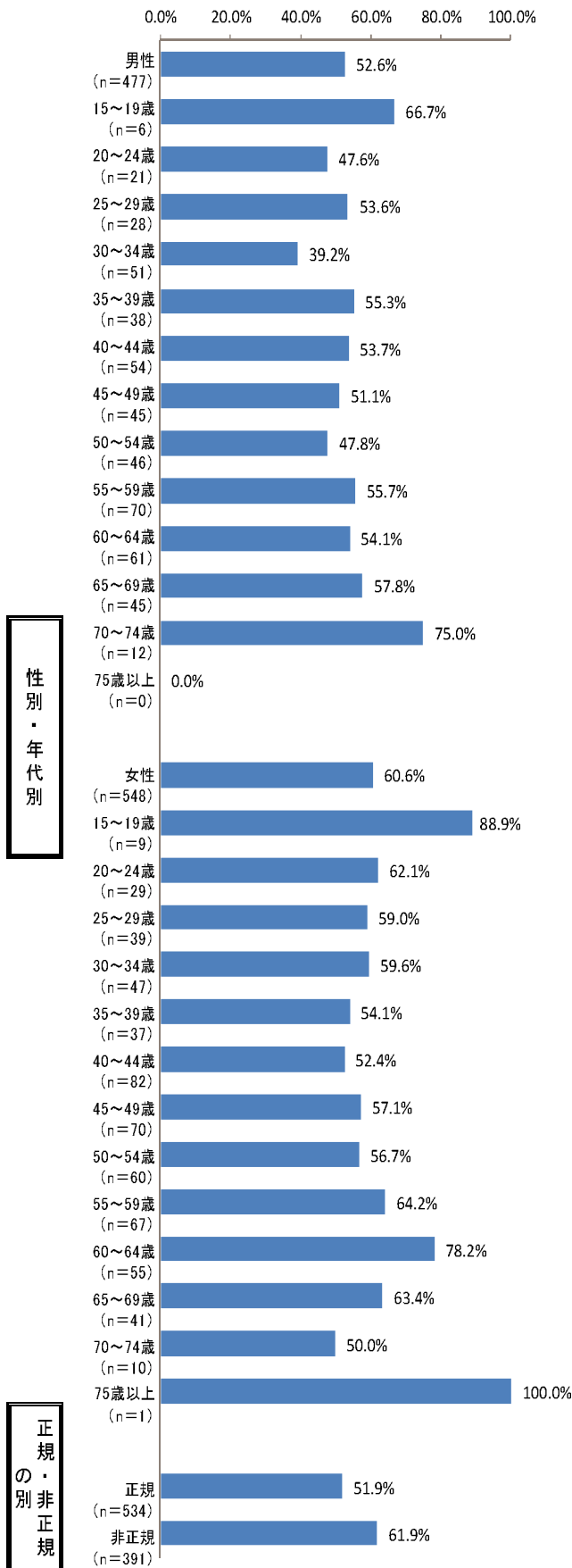
性別・年代別でみると、<男性>の<25~29歳><30~34歳>で「気を遣わないといけないが増える」の割合が高い。

正規・非正規別でみると、<非正規>では<正規>に比べ「助け合いの意識が生まれる」の割合が高くなっている。

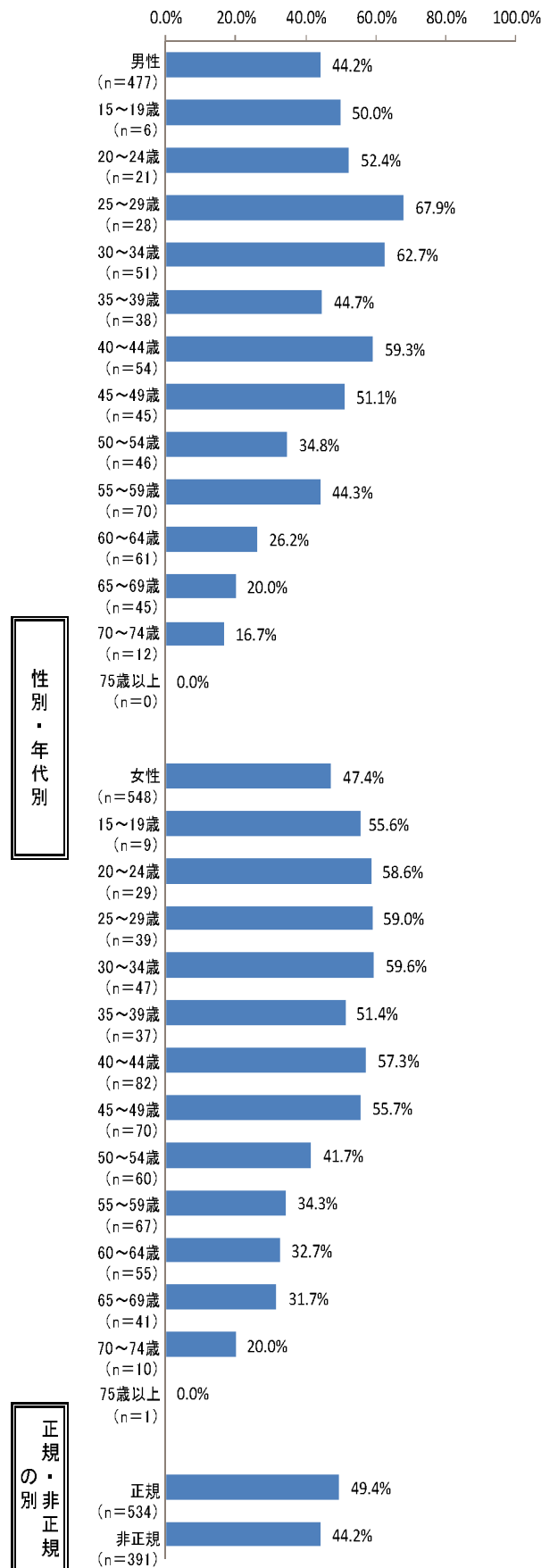
■職場にいた場合、どのように感じるか【高齢者(60歳以上)】



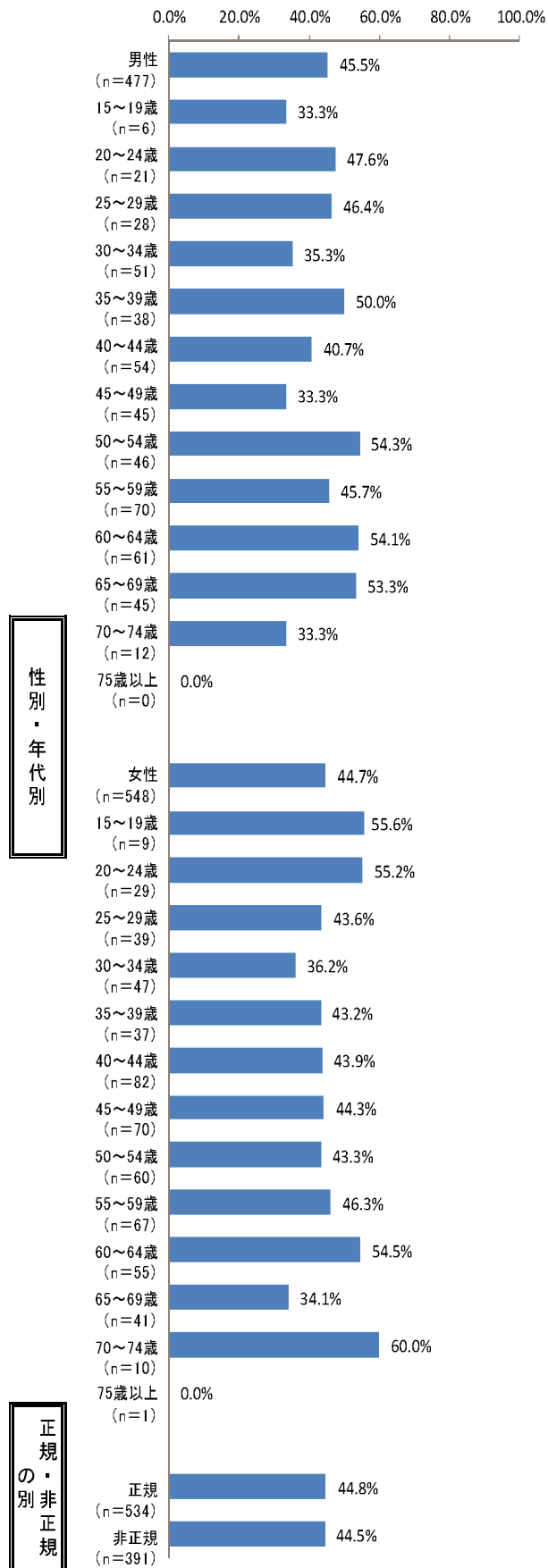
「助け合いの意識が生まれる」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別／正規・非正規の別≫



「気を遣わないといけないが増える」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別／正規・非正規の別≫



「相手の価値観を尊重する気持ちが生まれる」
と回答した人の割合
《性別・年代別／正規・非正規の別》



(8)-4 職場にいた場合、どのように感じるか【障がいのある人】

3-(8)-④ あなたの職場に以下のような人がいた場合、どのように感じますか。「④障がいのある人」【いくつでも○】

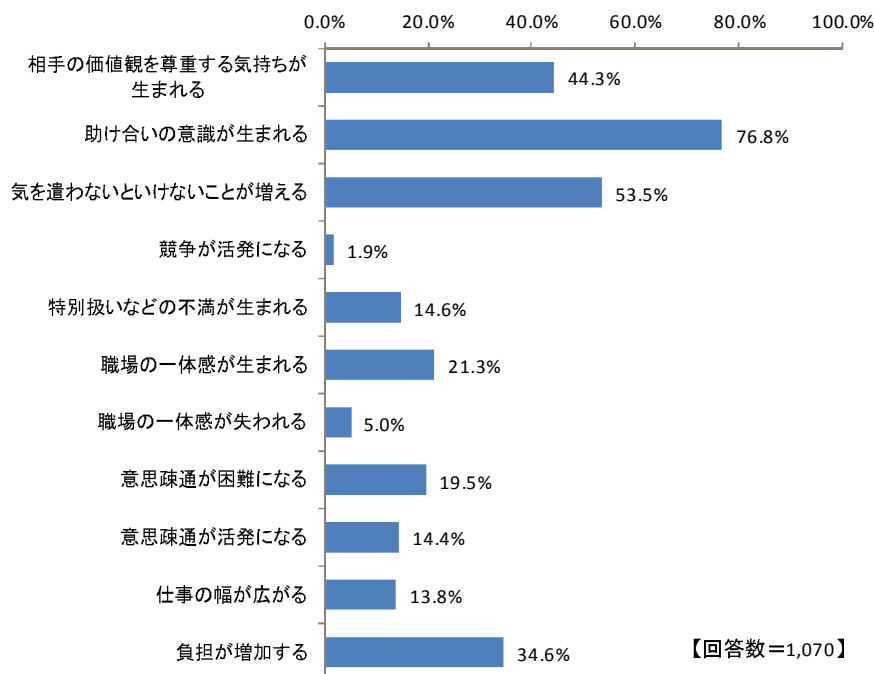
職場に障がいのある人がいた場合、どのように感じるかについては、「助け合いの意識が生まれる」が76.8%と最も高く、次いで「気を遣わないといけないが増える」が53.5%、「相手の価値観を尊重する気持ちが生まれる」が44.3%となった。

性別でみると、「助け合いの意識が生まれる」の割合は、＜女性＞が＜男性＞より比較的高い。

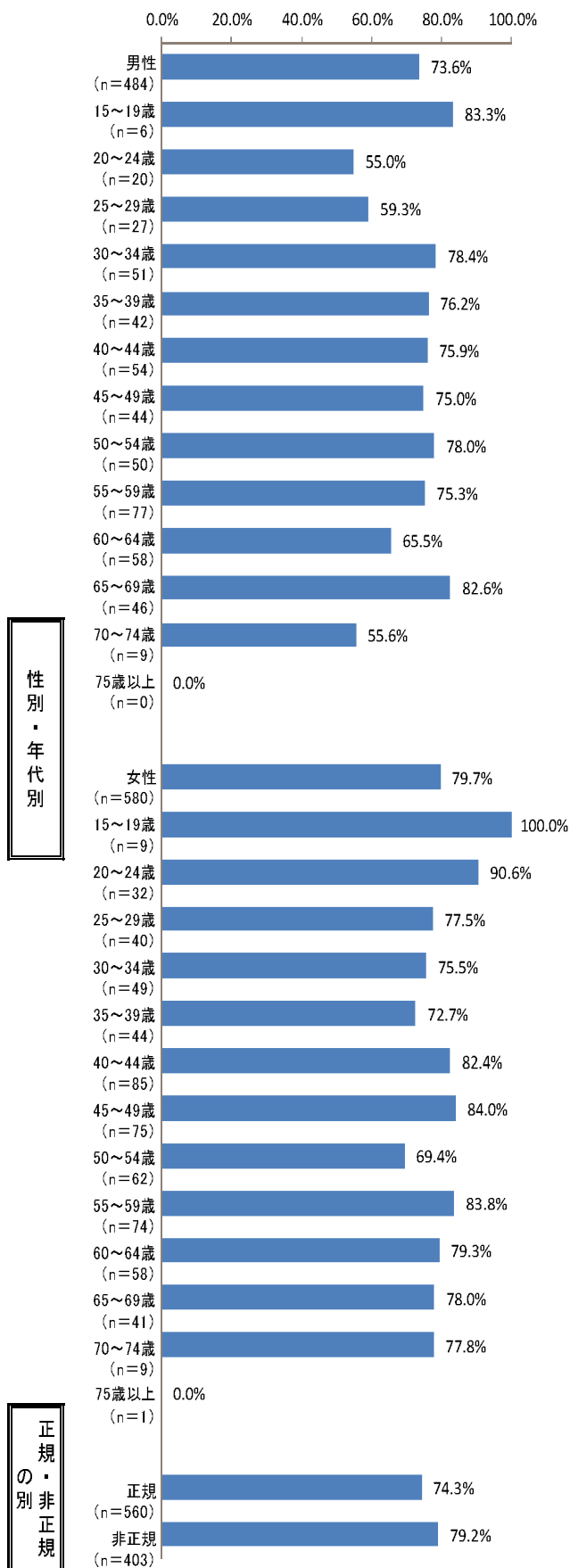
性別・年代別でみると、＜男性＞の20歳代では「助け合いの意識が生まれる」の割合が他の年代に比べて低い。＜男性＞の＜50～54歳＞では「気を遣わないといけないが増える」の割合が低く、＜男性＞の＜35～39歳＞では「相手の価値観を尊重する気持ちが生まれる」の割合が高くなっている。

正規・非正規別でみると、＜非正規＞では＜正規＞に比べ、「助け合いの意識が生まれる」の割合が高い。

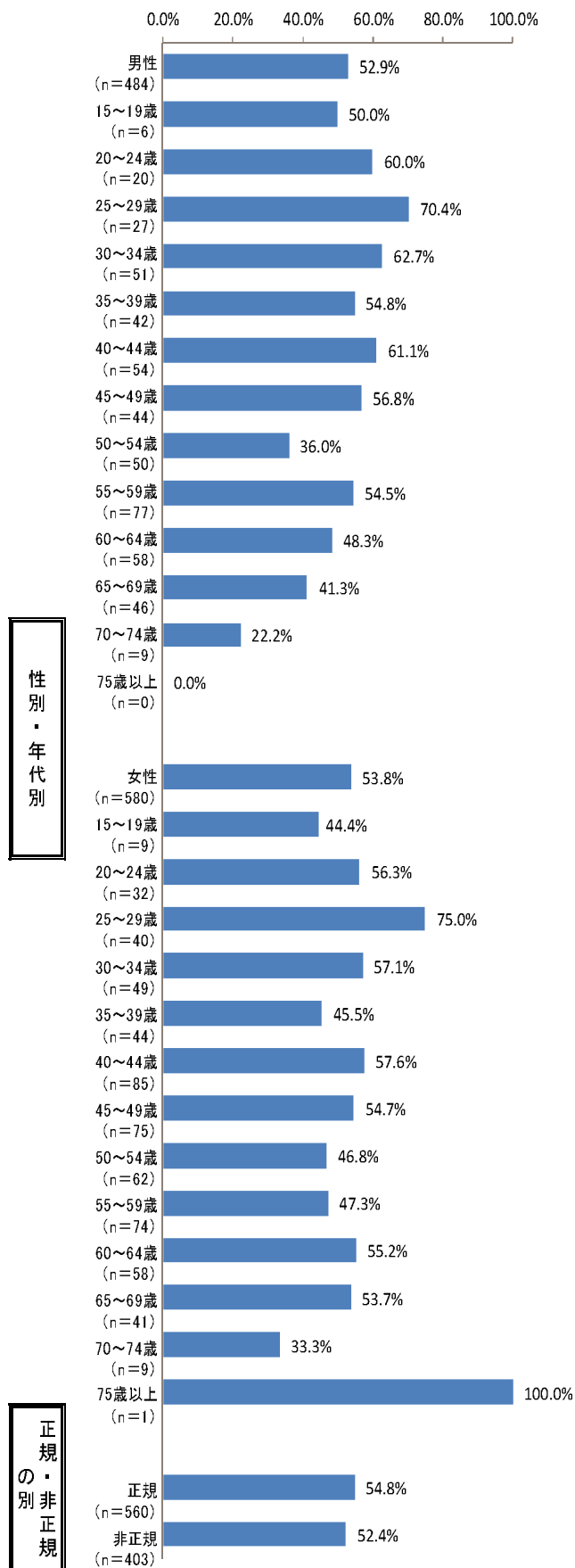
■職場にいた場合、どのように感じるか【障がいのある人】



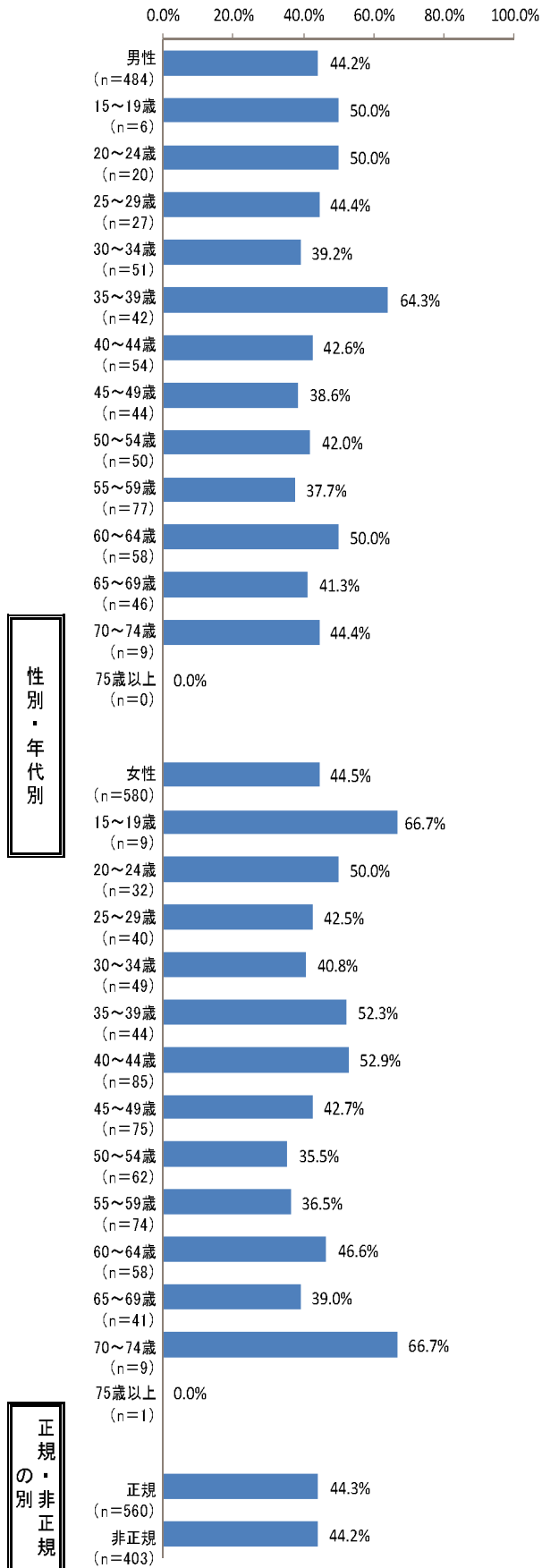
「助け合いの意識が生まれる」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別／正規・非正規の別≫



「気を遣わないといけないが増える」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別／正規・非正規の別≫



「相手の価値観を尊重する気持ちが生まれる」
と回答した人の割合
《性別・年代別／正規・非正規の別》



(9) 女性であることが不利だと思うか

3-(9) 働くうえで、女性であることが男性よりも不利だと思いますか。【1 つに○】

働くうえで女性であることが不利だと思うかどうかについては、「ややそう思う」が 34.7%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 33.3%、「そう思う」が 14.6%となった。

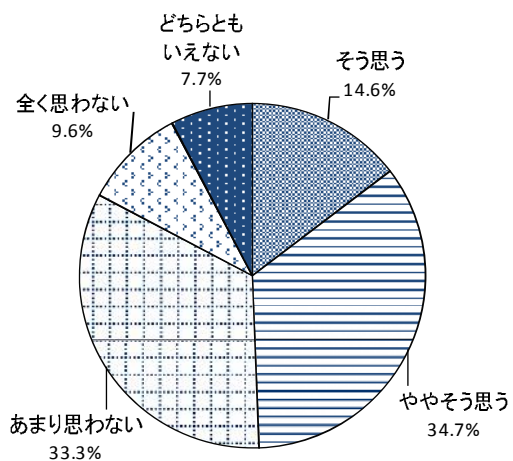
性別でみると、＜女性＞では＜男性＞に比べ、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合も、「あまり思わない」の割合も高くなっている。

性別・年代別でみると、＜女性＞では 60 歳未満の全ての年代で「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が 5 割以上となっている。＜男性＞では＜45～49 歳＞のみ「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が 5 割を超え、他の年代に比べて高くなっている。35 歳以上の年代では、＜女性＞の「あまり思わない」の割合は＜男性＞に比べて同程度あるいは上回っている。

正規・非正規別では、特に大きな差は見られない。

■ 女性であることが不利だと思うか

【回答数=1,203】

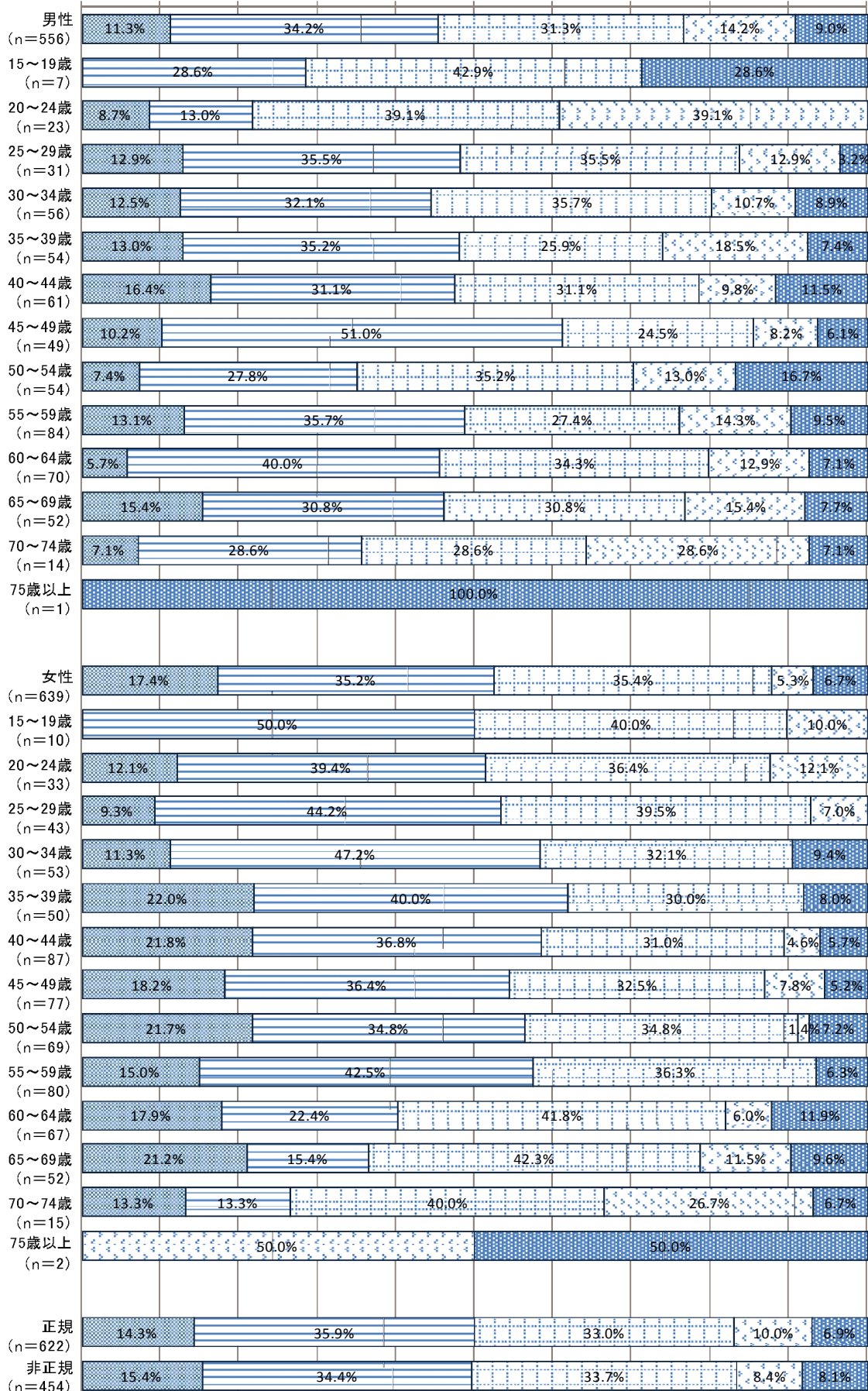


《性別・年代別／正規・非正規の別》

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

性別・年代別

正規の・別非正規



■ そう思う □ ややそう思う □ あまり思わない □ 全く思わない ■ どちらともいえない

(10) 不利だと思う理由

3-(10) 不利だと思う一番の理由は何ですか。【1つに○】

不利だと思う一番の理由については、「出産後に仕事を続けにくい」が35.2%と最も高く、次いで「業務が限られる」が19.3%、「給与・待遇に差を感じる」が17.2%となった。

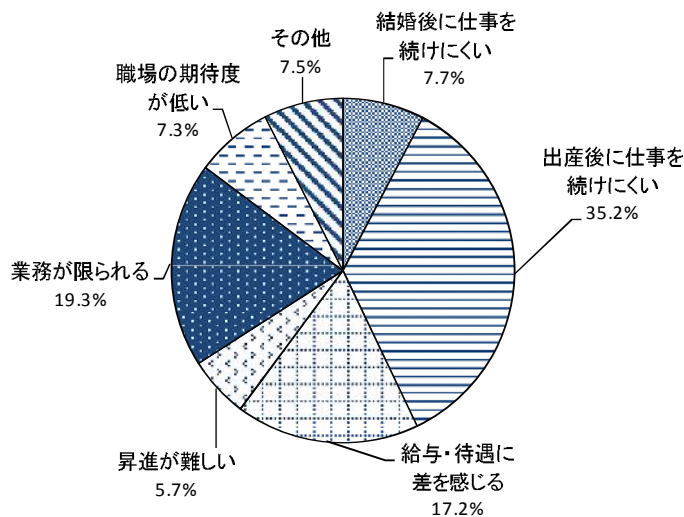
性別でみると、＜男性＞では＜女性＞に比べ「業務が限られる」の割合が高く、「給与・待遇に差を感じる」の割合が低い。

性別・年代別でみると、＜女性＞の25歳から35歳未満の年代で「出産後に仕事を続けにくい」の割合が高く、25歳から年代が上がるにつれて「給与・待遇に差を感じる」の割合が概ね高くなる傾向がある。

正規・非正規別でみると、＜正規＞では「業務が限られる」の割合が高く、＜非正規＞では「給与・待遇に差を感じる」の割合が高い。

■ 不利だと思う理由

【回答数=522】

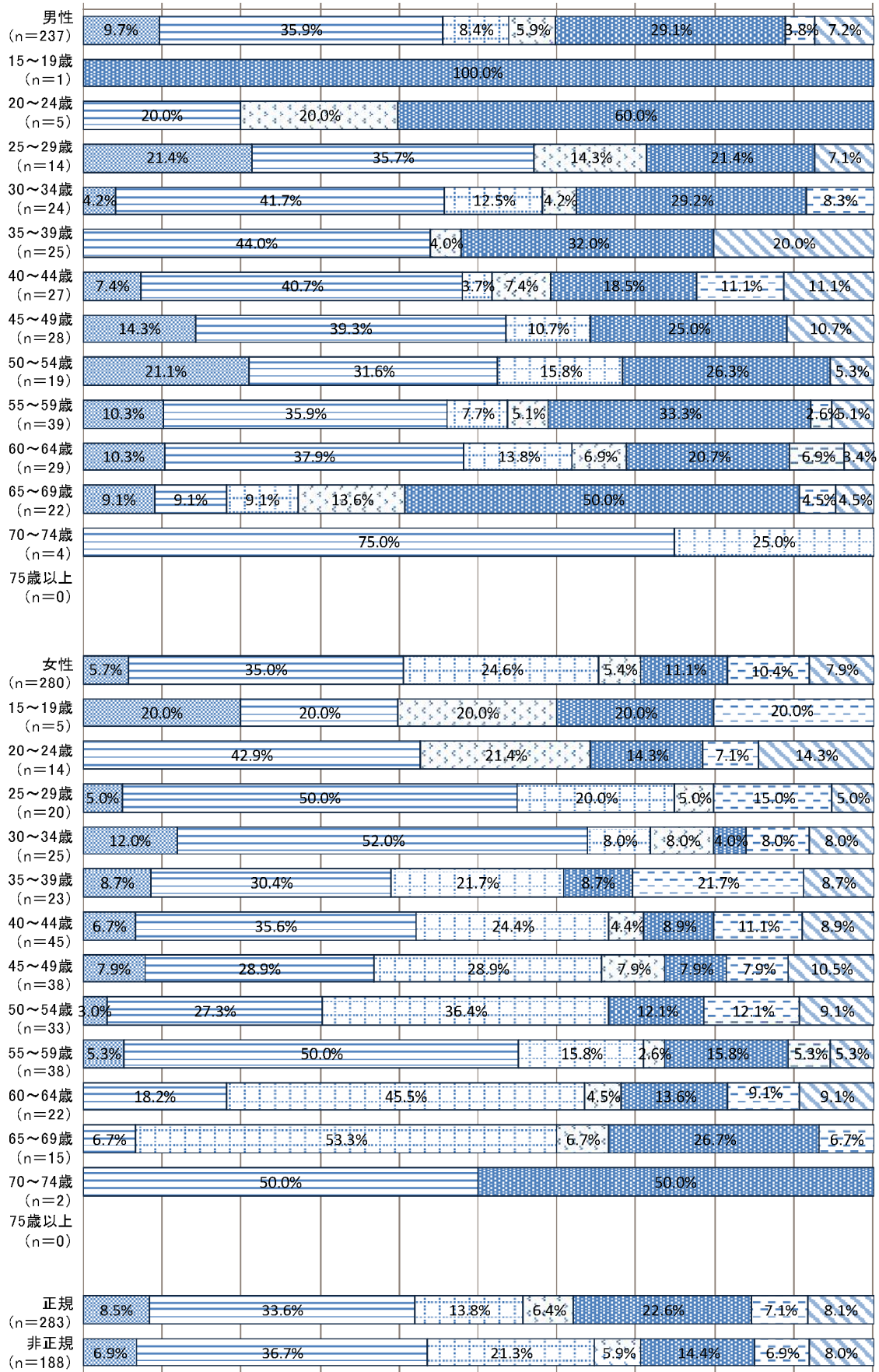


《性別・年代別／正規・非正規の別》

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

性別・年代別

正規の別非正規



- 結婚後に仕事を続けにくい
- 出産後に仕事を続けにくい
- 給与・待遇に差を感じる
- 昇進が難しい
- 業務が限られる
- 職場の期待度が低い
- その他